

平成20年度

「みやざき小中学校学力・意識調査」
分析結果

宮崎県教育委員会

調査の概要

1 実施の概要

調査目的	県内の小・中学校における学力の実態を把握・分析し、その結果をもとに、児童生徒の学力向上に総合的に取り組む。
実施日	平成20年4月22日(火)・23日(水)
調査実施校	市町村立小学校 267校(小学校5校 対象児童なし) 市町村立中学校 137校 県立五ヶ瀬中等教育学校 県立宮崎西高等学校附属中学校 宮崎大学教育文化学部附属小学校・中学校 (小学校 約11680人、中学校 約11880人)
対象学年	小学校第5学年
	中学校第2学年
調査実施 対象教科等	< 学力調査 > 小学校第5学年 国語、社会、算数、理科 中学校第2学年 国語、社会、数学、理科、英語 学習指導要領に示されている各教科の目標に即し、それぞれの教科の観点に沿った内容で調査を実施する。
	< 意識調査 > 小学校第5学年、中学校第2学年 学習に対する意欲や取組の状況、学習習慣や学習を支える基礎となる体験の有無、読書の状況等について、アンケート方式で調査を実施し、学力調査結果とのクロス分析を行う。

2 学力調査の結果

小学校第5学年の平均到達度及び達成率

(%)

		全県	A層	B層	C層	D層
平均到達度	国語	56.7	82.2	61.8	38.4	16.0
	社会	73.1	84.1	65.5	40.6	15.9
	算数	65.5	84.5	64.6	39.8	15.6
	理科	64.1	82.2	62.7	40.9	18.1
達成率	国語	18.2	100.0	0.0	0.0	0.0
	社会	74.0	100.0	52.5	0.0	0.0
	算数	32.7	100.0	0.0	0.0	0.0
	理科	18.7	74.4	0.0	0.0	0.0

中学校第2学年の平均到達度及び達成率

(%)

		全県	A層	B層	C層	D層
平均到達度	国語	58.2	82.5	62.4	39.9	17.3
	社会	57.6	82.4	61.2	38.0	15.5
	数学	52.5	82.5	60.6	37.4	15.5
	理科	56.5	81.0	60.9	38.0	15.9
	英語	54.1	83.5	62.6	38.4	17.9
達成率	国語	23.5	100.0	0.0	0.0	0.0
	社会	46.9	100.0	51.9	0.0	0.0
	数学	24.0	100.0	18.7	0.0	0.0
	理科	26.2	100.0	13.6	0.0	0.0
	英語	38.6	100.0	55.3	0.0	0.0

到達度は、児童生徒が正答、準正答であった問題数の割合を表し、平均到達度はその平均となる。

A層・B層・C層・D層とは、各教科の最高到達度と最低到達度を均等に4段階の層に分け、上位から順にA～Dとしたものであり、A層～D層の平均到達度は、各層の児童生徒の到達度を平均したものである。

達成率は、各教科における観点及び領域ごとに設定された目標値に到達した人数の割合を、全県及びA層～D層ごとに示したものである。

A層～D層については、意識調査と学力の関連を見るとき有効である。

3 意識調査の結果

小学校第5学年の肯定的回答の割合

意識調査

(%)

	全県	A層	B層	C層	D層
授業に関すること	86.1	90.2	85.9	78.7	71.9
学習に関すること	68.4	69.4	68.5	65.9	64.0
生活に関すること	66.7	69.0	66.3	63.3	60.2
自分に関すること	85.0	89.0	84.8	77.7	70.2

中学校第2学年の肯定的回答の割合

意識調査

(%)

	全県	A層	B層	C層	D層
授業に関すること	77.6	83.4	78.9	74.5	64.9
学習に関すること	61.6	64.0	62.5	59.8	55.8
生活に関すること	58.9	61.7	59.8	57.0	52.3
自分に関すること	79.8	84.9	81.3	76.9	66.2

A層・B層・C層・D層とは、全教科(小学校4教科、中学校5教科)の最高到達度と最低到達度を均等に4段階の層に分け、上位から順にA～Dとしたものであり、各層の児童生徒が肯定的に回答(望ましい回答)した人数の割合を表わしている。

4 分析の概要

学力に関する分析

小学校の国語、理科、中学校の国語、数学、理科に課題が見られる。

小学校の国語、理科、中学校の国語、数学、理科は、目標値に到達した児童生徒の割合(=達成率)が低い。これらの教科については、特に児童生徒のつまずきを各学校において十分分析し、今後の指導に生かすよう心がけていくことが大切である。

小学校の全教科、中学校の国語、社会、理科のD層に課題が見られる。

小学校の全教科、中学校の国語、社会、理科は、それぞれの教科の平均到達度と、D層の平均到達度との差が大きい。これらの教科については、特にD層の児童生徒の結果を精査し、指導の工夫を行うことが大切である。

意識に関する分析

「学習」及び「生活」に関する項目に課題が見られる。

小・中学校ともに、肯定的回答の割合の低い項目は、昨年同様「学習」及び「生活」に関する項目である。家庭学習の仕方や学校以外での過ごし方など、学校外での学習や生活に対して、家庭と協力して指導を行うことが大切である。

中学校の「生活」に関する項目に課題が見られる。

「授業」「学習」「生活」「自分」に関する各項目を小・中学校で比較すると、全体として中学校の方が、肯定的回答の割合が低く、特に中学校「生活」に関する項目が低くなっている。家庭での生活に対しても意識を向け、適切な指導を行うことが大切である。

学力と意識の関係分析

「自分」に関する項目と学力に関連性が見られる。

意識調査において、A層とD層の肯定的な回答に大きな差が見られるということは、学力との関連性が深いと考えられる。小・中学校ともに「自分」に関する項目において、A層とD層の差が大きくなっている。このことから、特にD層の児童生徒に対して、自分の将来への夢や希望をもたせたり、自己肯定感をもたせたりする指導を行うことが大切である。

「授業」に関する項目と学力に関連性が見られる。

小・中学校ともに「授業」に関する項目に、A層とD層の肯定的な回答に大きな差が見られる。このことから、わかる授業の工夫や授業形態の工夫などに、積極的に取り組むことが大切である。

調査問題の趣旨・内容

- 読む能力 - 書かれている内容についての理解に関する基礎的・基本的な知識や能力が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) 叙述をもとに、登場人物の気持ちの変化を読み取る。
文章の要旨を読み取る。
- 書く能力 - 条件や目的に応じて書くことができるかどうかを見る問題。
(例) 自分が選択したものについてその理由を書く。
自分の考えを書く。
- 言語についての知識・理解・技能 - 言語事項に関する基礎的・基本的な知識や能力が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) 漢字を正しく書いたり、読んだりする。
主語と述語を指摘する。

課題等

読むこと

文相互の論理的な関係から適切な接続語を選択すること(大問2小問2)は、86.3%の設問別通過率であり、領域の目標値73.5%をかなり上回っている。

叙述をもとに、登場人物の心情を理解し、文章中から心情を表す表現を抜き出すことに課題がある。

登場人物の気持ちの変化や情景などについて、想像して読むことに課題がある。

中心となる語や文をとらえて、文脈に適合する言葉を入れることに課題がある。

段落相互の関係を理解し、抜けている文章を正しく挿入することに課題がある。

書くこと

資料の情報をもとに、自分の生活と結び付けて答えを選択し、その理由を書くことに課題がある。

資料の情報をもとに、二つの文章の違いを見つけ、その違いが分かるように書くことに課題がある。

資料の情報をもとに、書かれた文章の表現の特徴を評価し、自分の考えをまとめることに課題がある。

書くことの平均到達度は37.1%で、領域の目標値70.0%をかなり下回っている。

言語事項

文の中の主語と述語を指摘すること(大問3小問4)は、それぞれ86.4%と85.4%の設問別通過率であり、領域の目標値76.7%を上回っている。

正しい筆順で漢字を書くことに課題がある。

ローマ字を正しく書くことに課題がある。

...よくできている点

...課題のある点

指導改善のポイント

読むこと

叙述をもとに、登場人物の気持ちの変化や情景を把握する言語活動を重視

- ・ 叙述に即して、細かい点にまで注意しながら内容を正確に把握させる指導を重視する必要がある。その際、登場人物の行動や心情だけの読み取りで終わるのではなく、行動の基盤となる心情や心情の結果として表れた行動など、心情と行動を関連させた読み取りを行っていくことが大切である。

文章の内容や構成を理解する言語活動を重視

- ・ 段落相互の関係を、文章構成図等を作成しながら確認させることが大切である。
- ・ 中心となる語や文、接続語や指示語等に注目させるような活動をとおして、内容を的確にとらえさせることが大切である。
- ・ 学習した説明的文章の内容に関連する他の本や文章などを読んだり、それらの内容をまとめたりする等の児童の読書の幅を広げる活動を取り入れていくことが大切である。

書くこと

資料の情報をもとに、条件や目的に応じて自分の考えを書く言語活動を重視

- ・ 資料の情報を読み取る活動だけでなく、読み取ったことをもとに自分の考えを書いたり、資料の表現の特徴を評価しまとめたりする活動を行っていくことが大切である。また、資料の情報をもとに、気付いたことや考えたことを簡潔にまとめる言語活動も取り入れることが大切である。

文章を要約したり、要旨をまとめたりする言語活動を重視

- ・ 読むこととも関連するが、本文や資料から必要な情報を取り出して、要約したり、要旨をまとめたりする言語活動を重視していくことが大切である。

言語事項

3領域との関連を図った言語活動を重視

- ・ 言語事項を定着させるためには、3領域との関連を図った言語活動を充実させることが大切である。例えば、音読や朗読においては、既習の漢字の読みに定着がみられなかった場合には、再度確認し、定着を図るように指導をすることが大切である。

言語事項の定着を図る指導を重視

- ・ 漢字を書くことについては、字体や音訓、意味や用法などの知識を習得させ、文脈に即した適切な漢字を使用することに注意させながら、繰り返し学習させることが大切である。その際、書写との関連も図りながら筆順や字体について指導し、定着を図ることが大切である。
- ・ ローマ字については、興味をもたせながら繰り返し学習を行わせるとともに、情報機器の活用とも関連させ、定着を図ることが大切である。

設問別解答状況一覧

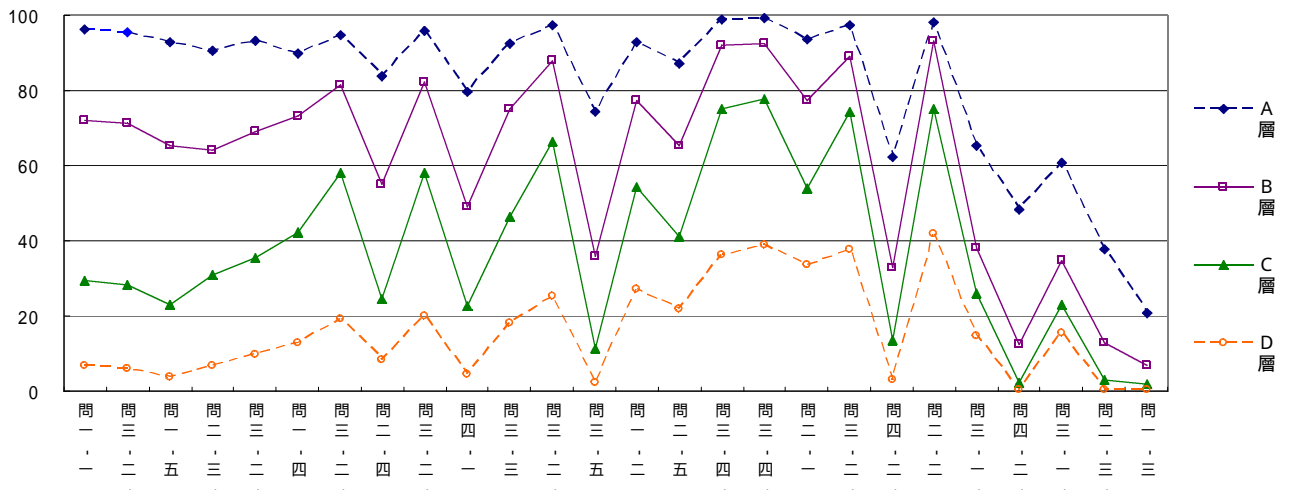
設問別通過率

(%)

問題番号			出題内容	観点	領域	全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層	無解答率
通し番号	大問	小問										
1	1	1	登場人物の把握	読む能力	読むこと	61.7	96.1	72.0	29.6	6.9	89.2	2.7
2	1	2	慣用表現の理解	読む能力	読むこと	71.1	92.8	77.3	54.3	27.1	65.7	0.7
3	1	3	内容の理解	読む能力	読むこと	7.6	20.7	6.7	2.0	0.3	20.4	11.8
4	1	4	内容の理解	読む能力	読むこと	64.7	89.8	73.3	42.2	12.8	77.0	6.4
5	1	5	叙述をもとにした想像	書く能力	書くこと	55.9	92.7	65.3	23.1	3.9	88.8	14.2
6	2	1	指示する内容の理解	読む能力	読むこと	71.6	93.5	77.2	54.1	33.6	59.9	0.6
7	2	2	適切な接続語の選択	読む能力	読むこと	86.3	98.3	93.2	75.0	41.9	56.4	0.6
8	2	3	適語補充	読む能力	読むこと	14.1	37.8	12.7	3.0	0.5	37.3	4.8
9	2	3	適語補充	読む能力	読むこと	57.1	90.4	64.3	30.8	6.9	83.5	5.0
10	2	4	段落の相互関係の理解	読む能力	読むこと	49.7	83.9	55.0	24.6	8.3	75.6	5.5
11	2	5	内容の理解	読む能力	読むこと	60.4	87.2	65.3	41.1	21.7	65.5	3.2
12	3	1	筆順の理解	言語についての知識・理解・技能	言語事項	35.4	60.9	34.9	22.9	15.6	45.3	0.7
13	3	1	筆順の理解	言語についての知識・理解・技能	言語事項	38.7	65.1	38.3	26.2	14.8	50.3	0.8
14	3	2	漢字の書き	言語についての知識・理解・技能	言語事項	74.7	95.7	82.4	58.1	20.1	75.6	4.6
15	3	2	漢字の書き	言語についての知識・理解・技能	言語事項	80.3	97.4	88.1	66.3	25.3	72.1	4.5
16	3	2	漢字の書き	言語についての知識・理解・技能	言語事項	74.1	94.9	81.4	58.3	19.1	75.8	6.1
17	3	2	漢字の読み	言語についての知識・理解・技能	言語事項	83.7	97.2	89.2	74.5	37.9	59.3	3.4
18	3	2	漢字の読み	言語についての知識・理解・技能	言語事項	61.2	93.1	69.1	35.3	9.7	83.4	8.2
19	3	2	漢字の読み	言語についての知識・理解・技能	言語事項	60.9	95.3	71.3	28.4	6.2	89.1	14.3
20	3	3	国語辞書の活用	言語についての知識・理解・技能	言語事項	67.4	92.4	75.0	46.6	18.0	74.4	0.8
21	3	4	主語・述語の関係	言語についての知識・理解・技能	言語事項	86.4	99.1	92.3	77.7	38.7	60.4	2.5
22	3	4	主語・述語の関係	言語についての知識・理解・技能	言語事項	85.4	98.9	92.0	75.1	36.4	62.5	2.6
23	3	5	ローマ字の知識	言語についての知識・理解・技能	言語事項	34.7	74.2	35.9	11.3	2.2	72.0	11.4
24	4	1	資料の情報をもとにした自らの考えの記述	書く能力	書くこと	45.3	79.7	49.1	22.8	4.5	75.2	6.9
25	4	2	資料の情報をもとにした言語事項の考察	書く能力	書くこと	15.6	48.2	12.3	2.1	0.5	47.7	20.7
26	4	2	資料の情報をもとにした言語事項の考察	書く能力	書くこと	31.5	62.2	32.9	13.4	3.0	59.2	21.8

設問別：各層の通過率

A層とD層との差が大きい設問順に左から並べています



調査問題の趣旨・内容

- 知識理解 - 社会的事象についての基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) 地図から方位を読み取る。
昔と今のごみの処理の仕方を理解する。
- 資料活用 - 社会的事象を観察、調査し、地図(絵地図)や各種の具体的資料を効果的に活用することができるかどうかを見る問題。
(例) 地図を読み取る。
資料を読み取り、正しく表現する。
- 思考判断 - 社会的事象の特色や相互の関連について考えることができるかどうかを見る問題。
(例) 年表から当時の状況を考える。
資料から自分の考えをもち、根拠を説明する。

課題等

身近な地域

地図から方位を読み取ることに課題がある。

地図記号を正しく理解し、地図上から様々な情報を特定していくことに課題がある。

販売の仕事

資料をもとに、消費者のニーズに応じた販売者側の工夫を考えること(大問2小問1)は、87.0%以上の設問別通過率であり、この領域の目標値75.0%をかなり上回っている。

安全を守る

資料をもとに、火災の場合における緊急連絡の流れを読み取ること(大問3小問2)は、82.4%の設問別通過率であり、観点の目標値59.1%をかなり上回っている。

人々の生活

2つのグラフを関連付けて、およそ何倍に増加しているかを読み取ることに課題がある。

昔と今のごみの処理の仕方を、生活と結び付けて考えることに課題がある。

県の特徴

目的に応じて必要な資料を選択すること(大問6小問1)は、それぞれ88.1%、86.1%の設問別通過率であり、この領域の目標値60.0%をかなり上回っている。

与えられた資料から必要な情報を取り出すことに課題がある。

地域の産業

資料から自分の考えをもち、その根拠を説明することに課題がある。

...よくできている点 ...課題のある点

指導改善のポイント

身近な地域

地図(絵地図)の活用を重視

- ・ 身近な地域や市・町・村の様子を地図に表したり、地図から地域や市・町・村の様子を読み取ったりする学習を積極的に取り入れることが大切である。
- ・ 地図に表したり、地図を読み取ったりする際に必要となる方位や主な地図記号については、確実な定着を図ることが大切である。

人々の生活

飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理の学習では具体的な資料活用を重視

- ・ 資料を活用する上で、資料の表題、出典、軸、単位などの情報を確認させることが大切である。
- ・ 資料に表されている事柄の全体的な傾向や増減に気付かせる指導を行う必要がある。
人々の生活の変化を具体的にとらえさせる学習の充実
- ・ 身の回りの道具を調べ、それらを時間の経過にそって整理させることで、地域の人々の生活が変わってきたことや、過去の生活における人々の知恵を考えさせることが大切である。

県の特徴

地図や統計資料から読み取れる情報を、数多く見つける学習を重視

- ・ 授業において、取り上げた資料から読み取れる情報を数多く見つける学習活動を積極的に取り入れていくことが大切である。

地域の産業

意思決定を行い、その根拠を考えさせる学習の充実

- ・ 単元計画において、価値判断の分かれる問題や課題、選択場面を設定し、自分の考えや立場を、根拠となる事実を明確にして表現する学習場面を設定することが大切である。
- ・ 自分の考えの根拠が資料や事実にもとづいたものではなく、個人的な考えになっていることもあるので、常に根拠を資料や事実から見つけさせる指導が大切である。
- ・ 中学年においては、価値判断の根拠となる事実及び資料を自分で探す際、児童の発達段階を考慮して教師がいくつかの資料を用意し、その資料にもとづいて考えさせるような指導が大切である。

設問別解答状況一覧

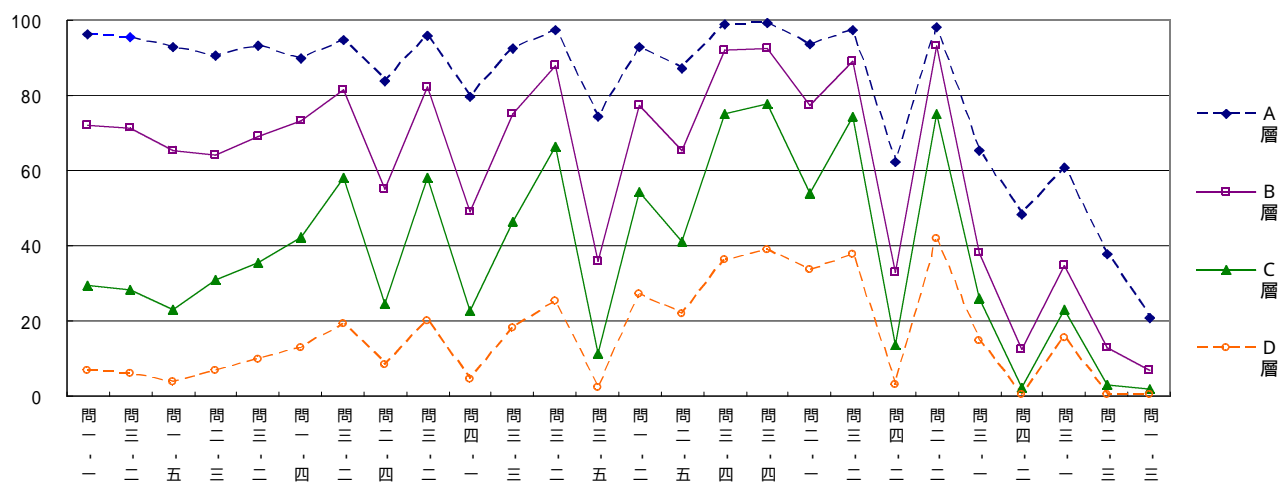
設問別通過率

(%)

問題番号			出題内容	観点	領域	全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層	無解答率
通し番号	大問	小問										
1	1	1	四方位	知識理解	身近な地域	62.4	75.2	49.1	39.7	31.7	43.5	0.4
2	1	2	地図の縮尺	知識理解	身近な地域	71.8	82.0	62.6	48.1	33.3	48.7	0.5
3	1	3	等高線	資料活用	身近な地域	56.6	67.0	45.6	40.2	23.7	43.3	0.7
4	1	4	地図の読み取り	資料活用	身近な地域	83.5	91.9	78.4	54.5	36.6	55.3	1.0
5	1	4	地図の読み取り	資料活用	身近な地域	36.1	40.2	31.7	31.1	21.0	19.2	2.7
6	1	5	地図の読み取り	資料活用	身近な地域	49.3	63.5	34.7	23.0	10.8	52.7	4.4
7	2	1	販売のくふう	知識理解	販売の仕事	87.6	96.8	84.3	48.1	21.5	75.3	1.5
8	2	1	販売のくふう	知識理解	販売の仕事	87.4	97.1	84.4	44.9	15.1	82.0	2.1
9	2	1	販売のくふう	知識理解	販売の仕事	87.4	97.0	84.4	45.0	12.4	84.6	2.8
10	2	2	他地域とのかかわり	資料活用	販売の仕事	79.3	94.3	69.5	30.0	5.4	88.9	8.0
11	2	3	販売のくふう	思考判断	販売の仕事	80.7	94.0	73.8	31.0	3.2	90.8	9.3
12	3	1	安全を守るための働き	知識理解	安全を守る	90.6	97.1	89.7	60.6	19.4	77.7	0.5
13	3	1	安全を守るための働き	知識理解	安全を守る	87.4	95.7	84.8	51.0	19.9	75.8	0.5
14	3	1	安全を守るための働き	知識理解	安全を守る	91.3	98.2	90.1	61.3	19.4	78.8	1.2
15	3	2	安全を守るための働き	資料活用	安全を守る	82.4	94.5	75.5	41.6	9.1	85.4	2.1
16	4	1	水の使用量の変化	資料活用	人々の生活	75.2	87.8	64.3	48.6	14.5	73.3	2.2
17	4	2	人口の変化	資料活用	人々の生活	68.0	80.1	56.9	43.7	15.1	65.0	2.4
18	4	3	水の使用量と人口の変化	資料活用	人々の生活	38.5	48.7	27.5	23.1	8.1	40.6	2.7
19	5	1	ごみのしまつの変化	知識理解	人々の生活	44.4	59.5	29.4	13.8	8.1	51.4	3.2
20	5	2	住みよいくらしをささえる	思考判断	人々の生活	94.5	99.5	94.5	70.8	25.8	73.7	3.6
21	5	2	住みよいくらしをささえる	思考判断	人々の生活	95.5	99.7	95.9	74.7	30.6	69.1	3.7
22	5	3	廃棄物の処理の仕方	資料活用	人々の生活	49.3	64.9	33.9	17.0	7.0	57.9	7.6
23	6	1	郷土資料の活用	資料活用	県の特徴	88.1	98.2	83.7	48.1	19.9	78.3	2.1
24	6	1	郷土資料の活用	資料活用	県の特徴	86.1	97.1	81.4	41.8	11.3	85.8	2.2
25	6	2	資料の読み取り	資料活用	県の特徴	39.6	54.8	22.9	16.0	6.5	48.3	5.2
26	7	1	地域の発展に尽くした人々	知識理解	地域の先人	64.7	80.5	51.0	25.8	8.1	72.4	6.0
27	7	1	地域の発展に尽くした人々	知識理解	地域の先人	53.4	69.0	39.1	17.2	4.3	64.7	9.0
28	8	1	年表の読み取り	資料活用	先人のはたらき	61.1	78.5	44.0	25.8	11.8	66.7	2.0
29	8	2	年表の読み取り	資料活用	先人のはたらき	80.3	90.6	74.4	44.9	16.1	74.5	2.7
30	8	3	年表の読み取り	思考判断	先人のはたらき	82.2	93.8	74.2	46.0	23.7	70.1	2.2
31	8	3	年表の読み取り	思考判断	先人のはたらき	85.2	95.6	79.4	49.0	20.4	75.2	3.6
32	8	4	資料の活用	思考判断	先人のはたらき	83.3	93.9	78.6	41.6	10.8	83.1	5.1
33	8	5	資料の読み取り	思考判断	先人のはたらき	94.1	99.2	93.9	70.4	31.2	68.0	3.0
34	8	5	資料の読み取り	思考判断	先人のはたらき	93.7	99.5	94.0	64.3	19.4	80.1	3.1
35	9	1	資料活用	資料活用	地域の産業	84.6	96.0	79.9	38.0	8.1	87.9	7.2
36	9	1	資料活用	資料活用	地域の産業	77.4	91.1	69.1	31.0	5.9	85.2	9.4
37	9	2	資料の活用	思考判断	地域の産業	32.7	50.0	14.1	1.8	0.5	49.5	8.8

設問別:各層の通過率

A層とD層との差が大きい設問順に左から並べています



調査問題の趣旨・内容

- 表現処理 - 事象を数理的に処理し、言葉や式、グラフ、図形、数学的な用語・記号などを用いて表現することができるかどうかを見る問題。
(例) 小数の加法・減法の計算をする。
分度器を使って、角の大きさを測定する。
- 知識理解 - 数量や図形などに関する基礎的・基本的な内容が定着しているかどうかを見る問題。
(例) 十進位取り記進数の意味を理解する。
二等辺三角形の性質を理解する。
- 数学的な考え方 - 事象を数学的にとらえ、見通しをもって筋道を立てて考え、問題を解決することができるかどうかを見る問題。
(例) 正方形の面積を利用して、複合図形の面積を求める。
数量の関係を図や式から読み取る。

課題等

数と計算

小数の加法の計算(大問1小問1)は、96.2%、単位分数と1との関係(大問2小問4)は、92.5%の設問別通過率であり、領域の目標値82.0%をかなり上回っている。
四捨五入の意味の理解について課題がある。
分数の大小関係の理解について課題がある。

数量関係

2つの折れ線グラフの比較(大問5小問2)は、85.5%と76.5%の設問別通過率であり、領域の目標値68.8%をかなり上回っている。
複数の2次元表から情報を読み取ることについて課題がある。
「順にもどす」考え方の理解について課題がある。

量と測定

分度器を使って角の大きさを測定すること(大問3小問1)は、91.4%の設問別通過率、長方形の面積の公式を活用すること(大問3小問2)は、92.6%の設問別通過率であり、領域の目標値77.0%をかなり上回っている。
複合図形の面積を求めることについて課題がある。

図形

二等辺三角形の作図(大問4小問2)は、84.3%の設問別通過率であり、領域の目標値81.3%をやや上回っている。
正三角形を平面上で敷き詰め、条件に合う図形をつくることについて課題がある。
円の直径と半径との関係の理解について課題がある。

指導改善のポイント

数と計算

数直線等を利用した視覚に訴える指導を重視

- ・ 四捨五入するとある整数になる範囲を求めることについては、十分に理解しているとは言えない。数直線を利用し、四捨五入するとある整数になる範囲について、視覚的に確認させることが大切である。
- ・ 分数の意味は理解しているが、分数の大小関係の理解は十分でない。数直線や分数の大きさを表した図などを利用し、視覚的に確認させ、理解を図ることが大切である。

数量関係

文章や表から読み取った情報を整理する学習の充実

- ・ 目的に応じて資料を集め、その資料を分類整理するとともに、それを表やグラフなどに分かりやすく表現して、特徴を調べたり、読み取ったりする学習の場面を、繰り返し設定することが大切である。
- ・ 2つの事柄について、物事を分類整理したり、論理的に起こり得る場合を調べたりする場面や、落ちや重なりがないように考える場面を、繰り返し設定することが大切である。

量と測定

具体物等を用いた算数的活動を取り入れた指導を重視

- ・ いろいろな具体物について調べたり、確かめたりする算数的活動を取り入れて、量の大きさについての感覚を豊かにすることが大切である。
- ・ 既習の図形の面積の求め方をもとに、面積を求めるためにはどの長さが必要かを考える場面を設定し、必要な長さを選択したり、測定したりする活動を取り入れることが大切である。

図形

基本的な図形の性質を考えさせる学習の充実

- ・ 基本的な図形の構成や作図の仕方について、図形の特徴を根拠にしながら説明する活動を取り入れることが大切である。
- ・ 図形についての観察や構成などの活動を通して、図形の性質を見いだしたり、説明したりする学習を行い、数学的に考える力や表現する力を育成することが大切である。

設問別解答状況一覧

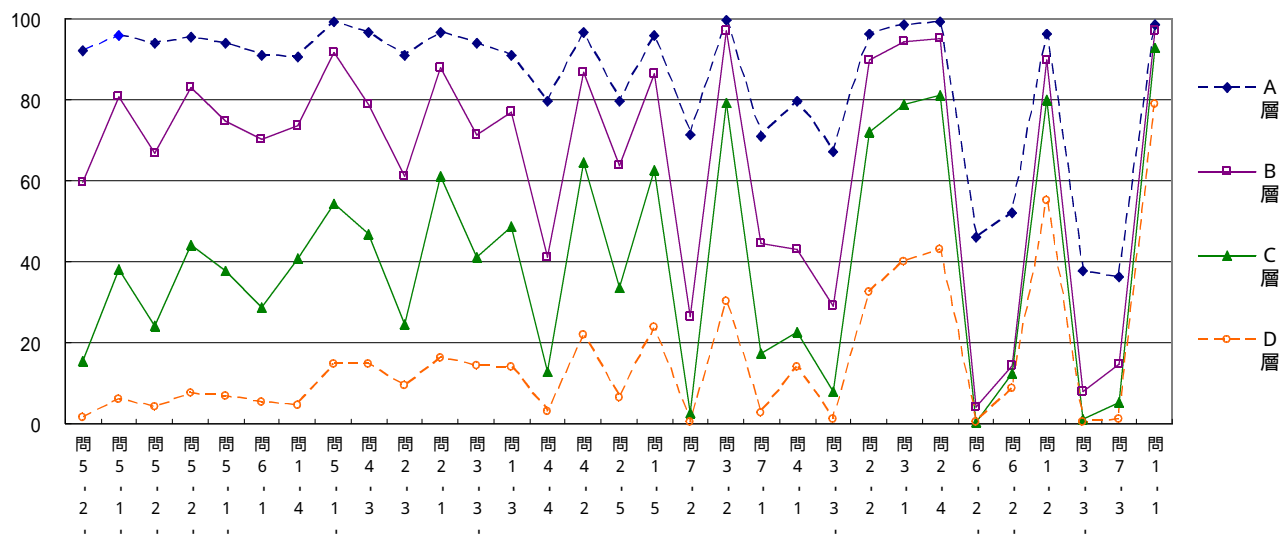
設問別通過率

(%)

問題番号	通し番号		出題内容	観点	領域	全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層	無解答率
	大問	小問										
1	1	1	小数の加法の計算	表現処理	数と計算	96.2	98.6	96.8	92.8	78.8	19.8	0.0
2	1	2	小数の減法の計算	表現処理	数と計算	89.3	96.1	90.0	80.0	55.0	41.1	0.1
3	1	3	3位数÷1位数の計算	表現処理	数と計算	74.8	90.8	76.9	48.8	13.9	76.9	1.3
4	1	4	3位数÷2位数の計算	表現処理	数と計算	71.5	90.4	73.5	40.6	4.7	85.7	3.7
5	1	5	四則の混合した計算	表現処理	数量関係	83.5	95.7	86.5	62.5	23.6	72.1	1.2
6	2	1	十進位取り記数法の意味	知識理解	数と計算	84.0	96.7	87.8	61.1	16.2	80.5	1.1
7	2	2	四捨五入による概数の表し方	知識理解	数と計算	87.2	96.3	89.9	72.1	32.5	63.8	1.1
8	2	3	四捨五入の理解	知識理解	数と計算	63.3	90.9	61.2	24.5	9.4	81.5	2.5
9	2	4	単位分数と1との関係	知識理解	数と計算	92.5	99.3	95.1	81.0	43.2	56.1	2.0
10	2	5	分数の大小	知識理解	数と計算	62.1	79.5	63.6	33.4	6.3	73.2	2.2
11	3	1	分度器を使っての角の大きさの測定	表現処理	量と測定	91.4	98.4	94.3	79.0	40.1	58.3	0.7
12	3	2	長方形の面積公式の活用	表現処理	量と測定	92.6	99.5	96.9	79.1	30.1	69.4	1.3
13	3	3	正方形の面積	表現処理	量と測定	71.9	93.9	71.2	41.0	14.4	79.5	2.7
14	3	3	正方形で構成されている図形のまわりの長さ	数学的な考え方	量と測定	37.1	67.1	28.9	7.8	1.3	65.8	3.8
15	3	3	複合図形の面積	数学的な考え方	量と測定	16.3	37.6	8.0	1.0	0.3	37.3	8.7
16	4	1	図形の敷き詰め	表現処理	図形	50.9	79.8	43.1	22.7	13.9	65.9	3.2
17	4	2	二等辺三角形の作図	表現処理	図形	84.3	96.6	86.9	64.6	22.0	74.6	2.7
18	4	3	二等辺三角形の性質	知識理解	図形	77.5	96.7	79.0	46.9	14.7	82.0	3.1
19	4	4	円の直径と半径との関係	数学的な考え方	図形	48.0	79.6	41.2	12.8	3.1	76.5	5.3
20	5	1	折れ線グラフの変化の様子	表現処理	数量関係	72.9	94.0	74.9	37.8	6.8	87.2	2.3
21	5	2	2つの折れ線グラフの比較	表現処理	数量関係	85.5	99.1	91.7	54.3	14.9	84.2	2.8
22	5	2	2つの折れ線グラフの比較			76.5	95.9	80.9	38.3	6.0	89.9	3.1
23	5	1	数量の関係を図や式からよみとる	数学的な考え方	数量関係	66.8	94.0	66.8	24.3	4.2	89.8	6.2
24	5	1	数量の関係を図や式からよみとる			61.1	92.0	59.5	15.5	1.6	90.4	6.9
25	5	2	数量の関係を発展的に考える	数学的な考え方	数量関係	78.4	95.4	83.2	44.2	7.6	87.8	5.5
26	6	1	2次元表を使って調べる	表現処理	数量関係	68.2	91.0	70.3	28.7	5.2	85.8	6.9
27	6	2	複数の2次元表から情報をよみとる	数学的な考え方	数量関係	17.1	46.0	4.1	0.3	0.5	45.5	33.3
28	6	2	複数の2次元表から情報をよみとる			26.2	51.9	14.4	12.6	8.6	43.3	21.8
29	7	1	2次元表と棒グラフのよみとりと概数の表し方	表現処理	数と計算	47.4	70.8	44.6	17.2	2.6	68.2	10.0
30	7	2	「順にもどす」考え方の理解	数学的な考え方	数量関係	36.5	71.5	26.3	2.8	0.3	71.2	22.6
31	7	3	条件を基に人数を求める	数学的な考え方	数量関係	19.8	36.4	14.6	5.4	1.0	35.4	22.5

設問別：各層の通過率

A層とD層との差が大きい設問順に左から並べています



調査問題の趣旨・内容

- 知識・理解 - 自然の事物・現象についての基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) 昆虫や植物のからだのつくりや成長の順序を理解する。
電池のつなぎ方とモーターの回り方の関係を理解する。
- 技能・表現 - 自然の事物・現象についての課題を追究するための観察・実験に必要な技能が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) 温度計を正しく読む。
観察記録の仕方を理解する。
- 科学的思考 - 自然の事物・現象の共通性や相互のかかわり、性質や変化、規則性についての見方や考え方が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) 温められた水の動きを理解する。
太陽とかげの動きを理解する。

課題等

生物とその環境

バッタの育ち方（大問1小問1）については、80.6%の設問別通過率であり、領域の目標値79.6%とほぼ同じである。

動物の活動や植物の成長と、季節とのかかわりをとらえること（大問3小問1）は、30.2%、40.8%の設問別通過率で、領域の目標値79.6%をかなり下回っている。

物質とエネルギー

金属の温まり方（大問5小問1）、光電池に当たる光の強さの違い（大問7小問3）は、96.6%、96.0%の設問別通過率で、領域の目標値74.6%をかなり上回っている。

磁石に引き付けられるものと、引き付けられないものとの区別について課題がある。

電池と豆電球が導線でつながっていても豆電球が点灯しない理由を説明すること（大問7小問1）は、40.4%の設問別通過率で、領域の目標値74.6%を大きく下回っている。

温められた空気の動きから、エアコンで部屋を早く暖かくする方法を考えることについて課題がある。

地球と宇宙

温度計を正しく読むこと（大問8小問3）は、89.8%の設問別通過率で、観点の目標値75.8%をかなり上回っている。

地面の温度変化から、日光の性質を見い出して説明すること（大問8小問4）は、30.6%の設問別通過率で、観点の目標値70.6%をかなり下回っている。

月の動きを考えることに課題がある。

太陽や月、星の動き方や見え方の全体的な理解（大問9小問3）は、26.7%の設問別通過率で、領域の目標値75.6%を大きく下回っている。

水の状態変化と霧とを関連付けること（大問9小問4）は、35.1%の設問別通過率で、観点の目標値70.6%を大きく下回っている。

宮崎県が太陽光発電に適していると判断した理由を、与えられた資料を用いて説明すること（大問11小問2）は、19.4%の設問別通過率で観点の目標値70.6%を大きく下回っている。無解答率も13.3%で最も多い。

...よくできている点 ...課題のある点

指導改善のポイント

生物とその環境

季節による生物の活動や成長の違いや変化をとらえる活動の重視

- ・ 1年間の生物のくらしを季節ごとに表にまとめ、季節における空気の温度の違いと生物の活動や成長の変化との関連を、理由も考えさせながらとらえさせる学習が必要である。
- ・ 学習内容と実生活を関連させるために、季節の変化を、実生活を含めたあらゆる機会を意識させることが大切である。

物質とエネルギー

磁石に付く物と付かない物とを区別する学習の重視

- ・ 磁石に付く物と付かない物を調べる実験では、結果を分類、整理してとらえさせることが大切である。

電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方について、理由とともに考える学習の重視

- ・ 豆電球が点灯したり、点灯しなかったりする現象を「回路」という考えを用いて考えさせることが大切である。

温まった空気の動きを、実生活に関連させて理解する学習の重視

- ・ 温まった空気の動きをとらえさせる際に、実生活でこの現象が見られる場面や、活用されている場面を考えさせて、学習内容を実生活に関連させる指導が大切である。

地球と宇宙

日なたと日陰の違いを見出し、その要因を説明する学習の重視

- ・ 日なたと日陰のようすを比較し、太陽の光が地面を暖めていることや地面のようすを変化させていることを説明させることが大切である。

月の動きを、図に表したり、言葉で説明したりする学習活動の重視

- ・ 月は東から西へ動くことを定着させた上で、東、南、西の3方向に分けて、動く向きを説明させるなどして規則性をとらえさせることが大切である。

水の状態変化を通して、見えない水蒸気を推論したり、言葉で説明する学習の重視

- ・ 水が自然蒸発している変化や、空気中に水蒸気があるという見方や考え方を、実験を通してとらえさせる必要がある。目に見えない水蒸気とゆげとの違いを明確にとらえさせるために、図を使ってまとめさせたり、説明させたりすることが大切である。

課題に対し、必要な知識や情報を適用させて解決し、適切に説明する学習の重視

- ・ 課題に対して、これまで学習した内容を想起させ、新たに与えられた情報とを結びつけながら、思考させ、解決させるとともに、その過程を論理的に説明させることが大切である。

設問別解答状況一覧

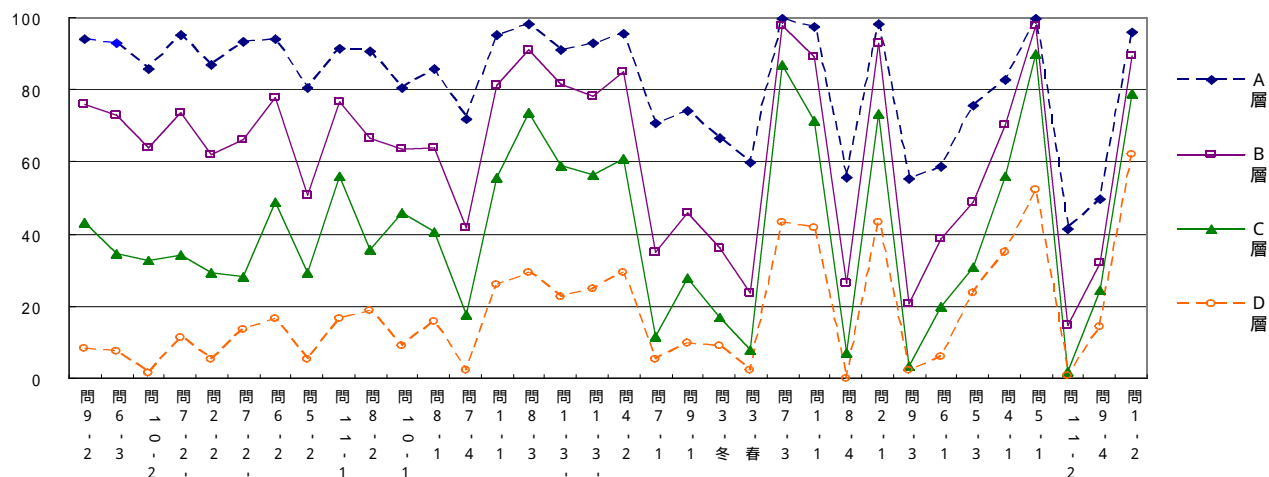
設問別通過率

(%)

問題番号		出題内容	観点	領域	全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層	無解答率
通し番号	大問小問										
1	1	1	知識・理解	生物とその環境	88.2	97.5	89.1	71.3	41.7	55.8	0.1
2	1	1	知識・理解	生物とその環境	80.6	95.2	81.3	55.5	25.8	69.4	0.2
3	1	2	知識・理解	生物とその環境	89.3	96.0	89.5	78.9	62.1	33.9	0.1
4	1	3	知識・理解	生物とその環境	78.2	92.9	78.1	56.4	25.0	67.9	0.2
5	1	3	知識・理解	生物とその環境	80.0	91.0	81.4	59.1	22.7	68.3	0.2
6	2	1	知識・理解	生物とその環境	91.0	98.2	93.0	73.4	43.2	55.0	0.4
7	2	2	知識・理解	生物とその環境	63.2	87.0	62.2	29.3	5.3	81.7	4.3
8	3	1	知識・理解	生物とその環境	30.2	59.7	23.6	8.0	2.3	57.4	0.4
9	3	1	知識・理解	生物とその環境	40.8	66.6	36.0	17.1	9.1	57.5	0.5
10	4	1	知識・理解	生物とその環境	71.1	82.7	70.3	56.1	34.8	47.9	0.4
11	4	2	技能・表現	生物とその環境	83.7	95.4	85.1	61.0	29.5	65.9	0.5
12	5	1	科学的思考	物質とエネルギー	96.6	99.5	97.9	89.7	52.3	47.2	0.2
13	5	2	科学的思考	物質とエネルギー	54.8	80.5	50.7	29.5	5.3	75.2	0.1
14	5	3	科学的思考	物質とエネルギー	52.8	75.5	48.9	30.8	23.5	52.0	0.2
15	6	1	知識・理解	物質とエネルギー	40.9	58.8	38.9	19.9	6.1	52.7	0.2
16	6	2	知識・理解	物質とエネルギー	77.2	94.1	77.8	48.8	16.7	77.4	0.2
17	6	3	知識・理解	物質とエネルギー	71.9	93.0	73.0	34.4	7.6	85.4	0.5
18	7	1	技能・表現	物質とエネルギー	40.4	70.8	34.9	11.5	5.3	65.5	7.4
19	7	2	知識・理解	物質とエネルギー	67.1	93.1	66.3	28.2	13.6	79.5	0.8
20	7	2	知識・理解	物質とエネルギー	72.7	95.0	73.5	34.3	11.4	83.6	0.9
21	7	3	知識・理解	物質とエネルギー	96.0	99.6	97.7	86.8	43.2	56.4	0.7
22	7	4	科学的思考	物質とエネルギー	45.4	71.8	41.6	17.6	2.3	69.5	9.9
23	8	1	知識・理解	地球と宇宙	65.5	85.6	63.8	40.6	15.9	69.7	0.3
24	8	2	科学的思考	地球と宇宙	67.7	90.6	66.4	35.8	18.9	71.7	0.9
25	8	3	技能・表現	地球と宇宙	89.8	98.2	91.1	73.7	29.5	68.7	0.4
26	8	4	技能・表現	地球と宇宙	30.6	55.5	26.2	7.1	0.0	55.5	7.1
27	9	1	知識・理解	地球と宇宙	50.0	74.2	45.8	27.7	9.8	64.4	1.0
28	9	2	知識・理解	地球と宇宙	75.2	94.0	76.1	43.3	8.3	85.7	4.8
29	9	3	知識・理解	地球と宇宙	26.7	55.3	20.5	3.5	2.3	53.0	1.7
30	9	4	科学的思考	地球と宇宙	35.1	49.5	31.9	24.5	14.4	35.1	1.9
31	10	1	技能・表現	生物とその環境	64.9	80.5	63.7	46.0	9.1	71.4	0.9
32	10	2	技能・表現	生物とその環境	64.4	85.8	63.9	32.7	1.5	84.3	4.1
33	11	1	科学的思考	物質とエネルギー	76.9	91.3	76.8	55.9	16.7	74.6	5.7
34	11	2	科学的思考	地球と宇宙	19.4	41.4	14.5	1.7	0.8	40.6	13.3

設問別:各層の通過率

A層とD層との差が大きい設問順に左から並べています



調査問題の趣旨・内容

読む能力 — 書かれている内容についての理解に関する基礎的・基本的な知識や能力が身に付いているかどうかを見る問題。

- (例) 叙述をもとに、登場人物の心情を読み取る。
文章の構成や要旨をとらえる。
様々な種類の資料から、必要な情報を読み取る。

書く能力 — 条件や目的に応じて書くことができるかどうかを見る問題。

- (例) 叙述を基に、登場人物への助言を記述する。
伝えたい事柄を明確にし、端的にまとめる。
身近な生活の中から課題を見つけ、自分の考えをまとめる。

言語についての知識・理解・技能 — 言語事項に関する基礎的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題。

- (例) 漢字を正しく読んだり書いたりする。
文の関係や文節、漢字の部首や画数を正しくとらえる。
歴史的仮名遣いを現代仮名遣いになおす。

課題等

読むこと

人物の心情を読み取り、その説明として適切な選択肢を選ぶこと（大問1小問3）は、84.2%の設問別通過率であり、領域の目標値74.6%をかなり上回っている。

人物の視点から書かれた情景描写を手がかりに、その心情を想像して読むことに課題がある。

人物の行動と心情の因果関係を的確にとらえることに課題がある。

文章の展開に即して指示内容を的確にとらえることに課題がある。

書くこと

人物の置かれた状況や心情に対して、条件にしたがって自分の考えを書くことに課題がある。

資料の情報をもとに、伝えるべき内容を端的にまとめて書くことに課題がある。

資料の情報をもとに、設定された課題を自分のこととしてとらえ、具体的な提案を整理して書くことに課題がある。

言語事項

日常的に使用頻度の低い漢字の読みや、文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。

主述の関係をとらえる、文節の区別をする、漢字の部首と画数を答える、古文を正しく音読して表記するなど、言語についての基礎的な知識・理解に課題がある。

...よくできている点 ...課題のある点

指導改善のポイント

読むこと

人物の行動や情景描写から、人物の心情を把握する言語活動の充実

- ・ 人物の心情が直接描かれた部分の読み取りだけでなく、行動の背景にある心情について、叙述に即して根拠を明確にしながらか意見を述べたり、情景描写に込められた人物の心情や、その表現効果について話し合ったりするなどの活動を充実することが大切である。

文章全体とのかかわりの中で細部を詳しく読みとる言語活動の充実

- ・ 接続語や指示語などに着目しながら、文や段落相互の関係を正しくとらえ、文章全体の構成や展開において、文章の一部が果たす役割について考える活動を充実することが大切である。

書くこと

文章や資料をもとに伝えたい内容をまとめ、条件にしたがって書く言語活動の充実

- ・ 文章や資料から大事なことを取り出し、気づいたことや考えたことを簡潔にまとめる活動を充実することが大切である。
- ・ 文章や資料を読み取るだけでなく、読み取ったことを自分の学習や生活に生かす活動を充実することが大切である。
- ・ 伝えるべき内容が正しく伝わるよう、相手や目的に応じて内容を整理したり、表現を工夫したりする活動を充実することが大切である。

言語事項

基礎的な言語事項の定着を図り、ことばについての意識を高める指導の重視

- ・ 日常生活の中で使用頻度が低いと思われる語句であっても、文章の中から取りだして指導したり、幅広い読書活動をさせたりして、より多くのことばに触れ、語彙を広げようとする意識を高める指導の工夫が大切である。
- ・ 書写の指導においては、楷書や行書に対する知識や技能を高め、文字を丁寧に書く意識や態度を育成する指導の工夫が大切である。
- ・ 文法の指導においては、文脈における言葉の働きに着目させ、理解したことをさらに他の言語活動に生かす指導の工夫が大切である。
- ・ 古文の指導においては、音読・朗読を重視することにより、古文特有のリズムに親しませながら、古語のきまりを習得させる指導の工夫が大切である。

設問別解答状況一覧

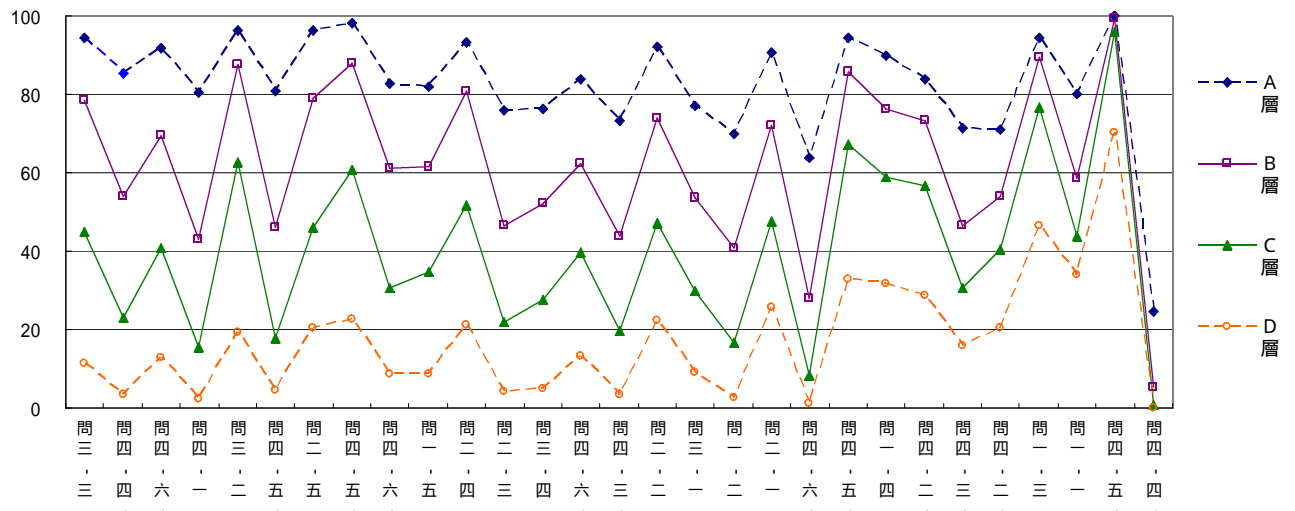
設問別通過率

(%)

問題番号	通し番号	大問	小問	出題内容	観点	領域	全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層	無解答率
1	1	1	1	文章の展開に即した描写の理解	読む能力	読むこと	58.2	80.1	58.6	43.9	34.0	46.1	0.3
2	1	2	2	文章の展開に即した内容(因果)の理解	読む能力	読むこと	38.9	70.0	40.9	16.6	2.6	67.4	10.5
3	1	3	3	文章の展開に即した内容(心情)の理解	読む能力	読むこと	84.2	94.5	89.3	76.6	46.3	48.2	0.3
4	1	4	4	文章の展開に即した朗読	読む能力	読むこと	71.9	89.7	76.3	58.8	31.8	57.9	0.4
5	1	5	5	人物への助言の記述	書く能力	書くこと	55.7	81.9	61.5	34.6	8.7	73.2	15.3
6	2	1	1	適切な接続詞の選択	読む能力	読むこと	66.9	90.4	72.1	47.7	25.6	64.8	0.3
7	2	2	2	文章の中心の部分と付加的な部分の理解	読む能力	読むこと	67.8	92.1	74.0	47.3	22.4	69.7	0.8
8	2	3	3	文章の展開に即した内容(指示内容)の理解	読む能力	読むこと	44.1	75.7	46.4	21.7	4.2	71.5	6.7
9	2	4	4	文章の展開に即した構成の理解	読む能力	読むこと	72.2	93.1	80.9	51.8	21.1	72.0	0.5
10	2	5	5	文章の展開に即した要旨の理解	読む能力	読むこと	70.5	96.2	78.8	46.1	20.2	76.0	0.6
11	3	1	1	文章の見出しの記述	書く能力	書くこと	49.8	76.8	53.5	29.7	9.2	67.6	8.3
12	3	2	2	文章の展開に即した内容の理解	読む能力	読むこと	78.4	96.2	87.6	62.6	19.1	77.1	6.9
13	3	3	3	様々な資料からの情報の選択	読む能力	読むこと	69.0	94.5	78.5	44.9	11.5	83.0	3.9
14	3	4	4	資料の条件に基づいた自らの考えの記述	書く能力	書くこと	48.2	76.1	52.0	27.7	5.0	71.1	9.5
15	4	1	1	主・述の関係	言語についての知識 理解 技能	言語事項	42.0	80.3	43.1	15.5	2.4	77.9	9.7
16	4	2	2	文節の区別	言語についての知識 理解 技能	言語事項	68.3	83.9	73.1	56.5	28.5	55.4	1.7
17	4	2	2	文節の区別	言語についての知識 理解 技能	言語事項	52.1	71.0	53.8	40.4	20.4	50.6	1.9
18	4	3	3	漢字の部首	言語についての知識 理解 技能	言語事項	41.9	73.3	43.9	19.8	3.5	69.8	18.1
19	4	3	3	漢字の画数	言語についての知識 理解 技能	言語事項	46.1	71.2	46.6	30.4	15.8	55.4	2.1
20	4	4	4	歴史的仮名遣い	読む能力	読むこと	8.2	24.5	5.1	0.9	0.1	24.4	29.1
21	4	4	4	歴史的仮名遣い	読む能力	読むこと	49.9	85.4	53.9	22.9	3.4	82.0	20.3
22	4	5	5	漢字の読み	言語についての知識 理解 技能	言語事項	96.6	99.9	99.4	95.8	70.3	29.6	1.1
23	4	5	5	漢字の読み	言語についての知識 理解 技能	言語事項	79.3	94.5	85.5	67.2	32.9	61.6	3.0
24	4	5	5	漢字の読み	言語についての知識 理解 技能	言語事項	78.9	98.0	88.0	60.8	22.7	75.3	4.0
25	4	5	5	漢字の読み	言語についての知識 理解 技能	言語事項	44.1	80.7	46.0	17.7	4.6	76.1	13.1
26	4	6	6	漢字の書き	言語についての知識 理解 技能	言語事項	63.4	91.6	69.5	40.8	12.7	78.9	9.8
27	4	6	6	漢字の書き	言語についての知識 理解 技能	言語事項	29.5	63.7	28.1	8.3	1.1	62.6	28.3
28	4	6	6	漢字の書き	言語についての知識 理解 技能	言語事項	58.1	83.7	62.2	39.6	13.2	70.5	17.4
29	4	6	6	漢字の書き	言語についての知識 理解 技能	言語事項	54.7	82.8	61.1	30.5	8.7	74.1	24.4

設問別：各層の通過率

A層とD層との差が大きい設問順に左から並べています



調査問題の趣旨・内容

- 知識理解 - 地理的・歴史的事象についての基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) 大陸名や海洋名、日本の領土を理解する。
南蛮貿易について理解する。
- 資料活用 - 地理的・歴史的事象を調査し、地球儀や地形図、年表など各種の具体的資料から情報を読み取り、活用することができるかどうかを見る問題。
(例) 地図から工場の立地について読み取る。
資料から将軍と御家人との主従関係について説明する。
- 思考判断 - 複数の資料から関連や背景を読み取り、多面的・多角的に考察することができるかどうかを見る問題。
(例) テーマをもとに仮説を設定し、仮説にもとづいて調査内容を考える。
歴史的事象と現在の生活を結び付けて考える。

課題等

世界と日本の地域構成

地球儀から緯線を読み取り、それぞれの線が何度を表しているかを読み取ることに課題がある。

正距方位図法から距離を読み取ることに課題がある。

日本の最北端の理解に課題がある。

地域の規模に応じた調査

調査学習における問題解決的な学習の流れ(大問6小問1)を問う問題については、88.6%の設問別通過率であり、この領域の目標値55.7%をかなり上回っている。

地形図の縮尺や方位、地図記号を正確に読み取ることに課題がある。

九州5県の産業別県内総生産額に関するグラフを正確に読み取ることに課題がある。

福岡の歴史的事象がおこった理由を地理的条件から説明することに課題がある。

古代までの日本

国風文化が栄えた背景について、外交的な事柄と結び付けて考えることに課題がある。

与えられたテーマにもとづき仮説を設定し、調査内容を考えることに課題がある。

中世の日本

水墨画から時代を読み取り、その時代に起こったことを考えることに課題がある。

近世の日本

屏風絵に描かれているポルトガル人やスペイン人が、当時は何と呼ばれていたかを答える問題(大問4小問2)については、72.2%の設問別通過率であり、この領域の目標値53.3%をかなり上回っている。

指導改善のポイント

世界と日本の地域構成

地球儀や様々な地図の活用を重視

- ・ 地球儀や地図などを授業の中で積極的に取り入れ、大陸や海洋などを読み取らせるとともに、緯度や経度など、読図のための知識を、多様な地図を用いて確実に身に付けさせることが大切である。
- ・ わが国の領土・領域については、地図を用いて確実な定着を図ることが大切である。

地域の規模に応じた調査

地形図やグラフなどの資料を様々な角度から読み取る学習を重視

- ・ 地形図を読み取るための基本的な知識(縮尺、方位、地図記号等)や、統計グラフに示されたデータの内容を正確に読み取る力を身に付けさせることが大切である。
- 歴史的事象と地理的事象を関連させる学習を重視
- ・ 複数の歴史的事象を地理的条件から考察し、歴史的事象が起こった原因や結果を説明するなど、多面的・多角的な見方・考え方を身に付けさせることが大切である。

古代までの日本

資料からテーマを設定し、問題解決的な学習を行うことを重視

- ・ 歴史的分野の学習では、知識を習得するだけの学習にならないよう、仮説を立て、調査していくような学習を行うことが重要である。また、多様な資料を生かして問題解決的な学習を行うことも大切である。

中世の日本

資料の暗記ではなく、資料から読み取る力を身に付ける学習を行うことを重視

- ・ 歴史的資料を授業で扱う際に、資料の名称や作者などを覚えることに終始するのではなく、資料が示しているものや、その時代背景など、資料から多面的・多角的に読み取る力を身に付けさせることが大切である。

近世の日本

歴史を現代につなげ、活用する学習を行うことを重視

- ・ 歴史的分野の学習は、社会科の目標である「公民的資質の基礎」を培うことも目指している。したがって、歴史で学んだ知識を、現在に生かす視点をもたせることが必要である。そのために、現代の社会問題を歴史的事象と結び付けて考える学習など、生徒たちが、歴史で学んだことを生かすことのできる学習の場を設定することが大切である。

設問別解答状況一覧

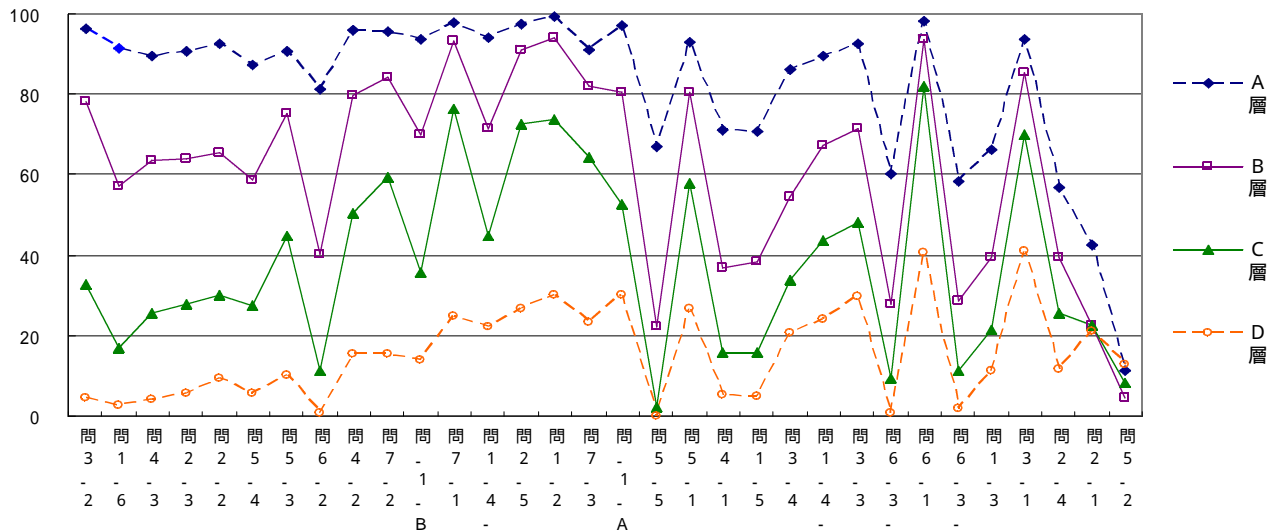
設問別通過率

(%)

問題番号 通し 番号	問題番号		出題内容	観点	領域	全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層	無解答率
	大問	小問										
1	1	1	大陸名	知識理解	世界と日本の地域構成	74.2	97.0	80.4	52.6	29.9	67.1	2.2
2	1	1	海洋名	知識理解	世界と日本の地域構成	63.4	93.6	69.8	35.9	13.8	79.8	2.4
3	1	2	赤道の名称	資料活用	世界と日本の地域構成	86.2	99.2	94.1	73.6	29.9	69.3	4.3
4	1	3	緯度と経度	資料活用	世界と日本の地域構成	39.6	66.1	39.6	21.5	11.3	54.8	1.1
5	1	4	時差	資料活用	世界と日本の地域構成	63.8	89.4	67.2	43.5	24.0	65.4	1.0
6	1	4	標準時	資料活用	世界と日本の地域構成	67.0	94.0	71.4	44.8	22.1	71.9	0.9
7	1	5	地図の読み取り	知識理解	世界と日本の地域構成	38.3	70.6	38.3	15.7	4.9	65.7	3.2
8	1	6	世界の地域区分	知識理解	世界と日本の地域構成	51.7	91.2	57.2	17.1	2.8	88.4	12.3
9	2	1	日本の位置と領域	知識理解	世界と日本の地域構成	27.3	42.6	22.4	22.5	21.1	21.5	2.0
10	2	2	日本の地域区分	資料活用	世界と日本の地域構成	59.4	92.4	65.4	30.2	9.5	82.9	9.8
11	2	3	都道府県の構成	思考判断	世界と日本の地域構成	57.4	90.6	63.9	27.8	5.7	84.9	14.8
12	2	4	地形図の読み取り	知識理解	地域の規模に応じた調査	38.3	56.6	39.4	25.6	11.5	45.1	4.6
13	2	5	新旧地形図	知識理解	地域の規模に応じた調査	84.0	97.3	91.1	72.4	26.8	70.5	8.5
14	3	1	文明の起こりと日本	知識理解	古代までの日本	80.8	93.6	85.5	70.0	40.9	52.7	0.5
15	3	2	聖徳太子の政治	資料活用	古代までの日本	66.2	96.4	78.1	32.6	4.6	91.8	17.2
16	3	3	律令国家の形成	資料活用	古代までの日本	68.0	92.5	71.3	48.3	29.7	62.8	0.7
17	3	4	国風文化	資料活用	古代までの日本	54.8	86.1	54.6	33.7	20.5	65.6	1.5
18	4	1	応仁の乱	資料活用	中世の日本	37.7	70.9	36.8	15.8	5.1	65.8	19.6
19	4	2	ヨーロッパ人の来航	知識理解	近世の日本	72.2	95.9	79.7	50.5	15.6	80.3	9.2
20	4	3	武家政治の特色	資料活用	中世の日本	56.3	89.3	63.5	25.5	4.0	85.3	22.7
21	5	1	新旧地図の比較	思考判断	世界と日本の地域構成	74.4	92.9	80.4	57.9	26.6	66.3	0.7
22	5	2	福岡の産業	思考判断	地域の規模に応じた調査	7.6	11.4	4.4	8.1	12.7	-1.3	0.8
23	5	3	九州の工業	資料活用	地域の規模に応じた調査	67.2	90.6	75.2	44.9	10.1	80.5	7.9
24	5	4	福岡空港の利用	思考判断	地域の規模に応じた調査	54.2	87.1	58.7	27.3	5.5	81.6	6.5
25	5	5	福岡の位置	思考判断	地域の規模に応じた調査	26.4	66.9	22.0	2.1	0.0	66.9	39.2
26	6	1	学習の流れ	知識理解	地域の規模に応じた調査	88.6	98.0	93.6	82.0	40.6	57.4	0.9
27	6	2	資料の読み取り	資料活用	古代までの日本	40.2	81.2	40.1	11.1	0.8	80.4	9.5
28	6	3	仮説の設定	思考判断	古代までの日本	29.4	60.3	27.9	9.5	0.8	59.5	24.0
29	6	3	調査項目の設定	思考判断	古代までの日本	29.7	58.2	28.5	11.3	1.7	56.5	23.9
30	7	1	資料の読み取り	資料活用	古代までの日本	85.9	97.9	93.1	76.5	25.0	72.9	6.3
31	7	2	タイトルの設定	思考判断	近世の日本	76.3	95.4	84.1	59.4	15.5	79.9	9.3
32	7	3	歴史の活用	思考判断	近世の日本	76.1	90.9	82.0	64.3	23.4	67.5	11.7

設問別:各層の通過率

A層とD層との差が大きい設問順に左から並べています



調査問題の主旨・内容

- 表現・処理 - 事象を数理的に処理し、文字式、グラフ、作図などを用いて表現することができるかどうかを見る問題。
(例) 数の四則計算、図形の面積や体積を求める。
比例のグラフをかくことや垂直二等分線を作図する。
- 知識・理解 - 数と式、数量関係、図形領域における基礎・基本的な内容を理解しているかどうかを見る問題。
(例) 数の大小関係や文字式の意味を理解する。
比例、反比例の関係について理解する。
- 見方・考え方 - 事象を数学的にとらえ、数式や数量関係を用いて、論理的に問題を解決することができるかどうかを見る問題。
(例) 一次方程式を用いて、論理的に説明する。
2つの数量関係を求め、2つの事象の違いを説明する。

課題等

数と式

文字式での計算や数の加法・減法を問う問題(大問1小問3)については、設問別通過率86.7%であり、領域の目標値73.6%をかなり上回っている。

数の増え方の規則性を問う問題(大問4小問1)については、設問別通過率83.5%であり、領域の目標値73.6%をかなり上回っている。

文字式(多項式)の表す意味を理解することに課題がある。

一次方程式を使って、数学的に説明することに課題がある。

文字式の意味を図示することに課題がある。

等式の性質を理解することに課題がある。

数量関係

反比例の関係のグラフを問う問題(大問6小問3)については、設問別通過率76.7%であり、領域の目標値63.8%をかなり上回っている。

比例や反比例の関係を理解することに課題がある。

事象の中の数量関係を把握し、問題解決することに課題がある。

図形

直線の本数や線対称の意味、垂直二等分線の作図を問う問題(大問7小問1, 2)は、いずれも領域の目標値67.5%を上回っている。

図形の面積を求めることに課題がある。

円錐の体積を求めることに課題がある。

おうぎ形の弧の長さや円の半径を求めることに課題がある。

...よくできている点

...課題のある点

指導改善のポイント

数と式

基礎・基本事項の定着と計算技能の習熟の重視

- ・ 負の数や指数を含む四則計算を確実に定着させることが大切である。また、式の値における負の数の代入処理を確実に理解させる必要がある。
- ・ 数の種類と大小関係、絶対値の意味について確実に理解させることが大切である。
- ・ 様々な事象を文字式で表現することや文字式の表す意味を具体的な事象に関連させて理解させることが重要である。

方程式の表す意味と具体的な場面との関係を理解させる学習の充実

- ・ 一次方程式の意味を理解させ、具体的な問題の中で、解を求めることができるように指導することが大切である。
- ・ 文字式の意味を理解させ、具体的な場面において、数値や文字を用いて説明できるように指導することが重要である。

数量関係

比例、反比例の意味の理解とグラフの重視

- ・ 事象の中における比例や反比例の関係を見出すことができるように指導することが大切である。また2つの数量の変化や対応関係の特徴を、表、式やグラフを用いて理解させることが重要である。
- ・ グラフにおいては、座標や負の領域の意味、描画の方法を確実に理解させ、比例定数とグラフの関係を把握させることが必要である。
- ・ 事象の中における課題を、数学的な見方や考え方でとらえ、その解決を図るために、値や式を用いることで、比較・分析したり、判断・説明したりできるように指導することが重要である。

図形

平面及び空間における基本事項の定着と面積や体積計算を習熟させる学習の充実

- ・ 平面や空間図形の基本性質を理解させ、身近な事象を図形の性質と関連させながらとらえさせることが必要である。
- ・ 作図の基本的な技能を身に付けさせ、図形に関する見方や考え方を深め、論理的に考えさせるように指導することが大切である。
- ・ 基本的な面積の求め方を理解させること、図形の中の対称性や等しい面積の関係に気づかせること、考察したことを用いて面積を求めることができるように指導することが重要である。
- ・ 立体を平面図形の動きとして理解させ、基本的な立体の体積を求めることができるように指導することが大切である。
- ・ おうぎ形の中心角、弧の長さ、面積については、それらの値を確実に求めることができるように指導することが大切である。

設問別解答状況一覧

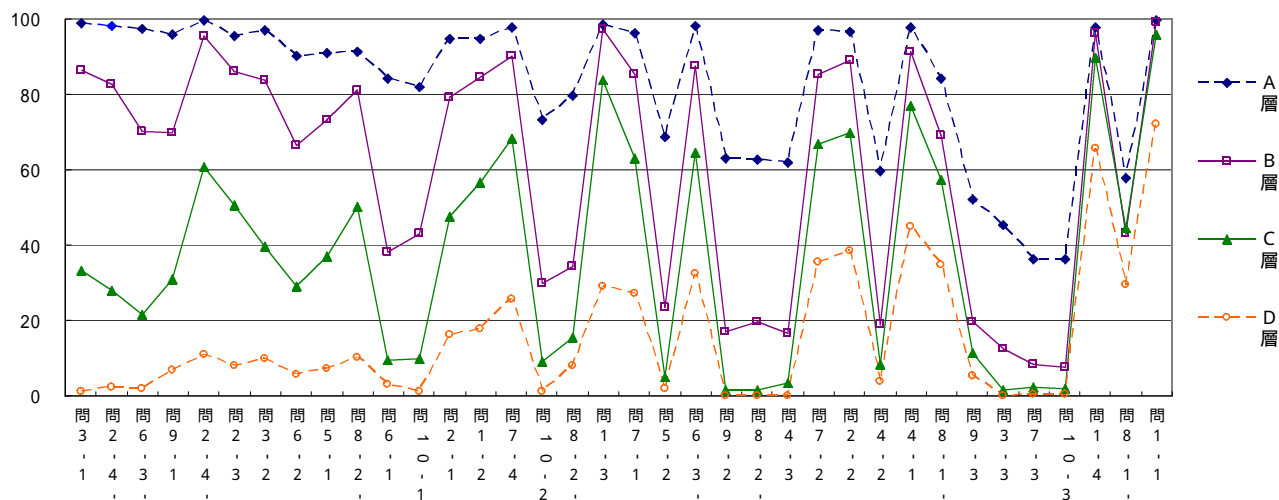
設問別通過率

(%)

問題番号			出題内容	観点	領域	全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層	無解答率
通し番号	大問	小問										
1	1	1	正の数,負の数の加法	表現・処理	数と式	95.7	99.7	99.2	96.0	72.1	27.6	0.3
2	1	2	数の累乗や乗法の計算	表現・処理	数と式	70.9	94.6	84.5	56.5	17.6	77.0	1.0
3	1	3	文字式と数の加法・減法	表現・処理	数と式	86.7	98.5	97.2	83.9	28.9	69.6	1.8
4	1	4	単項式と数の乗法	表現・処理	数と式	91.6	97.9	96.2	89.9	65.5	32.4	1.7
5	2	1	絶対値の意味	表現・処理	数と式	65.8	94.9	79.4	47.6	16.4	78.5	2.1
6	2	2	数の大小関係	知識・理解	数と式	79.4	96.5	89.2	69.9	38.4	58.1	0.6
7	2	3	式の値	表現・処理	数と式	68.9	95.6	86.2	50.6	7.9	87.7	5.3
8	2	4	文字式の意味	表現・処理	数と式	77.2	99.8	95.6	60.7	10.9	88.9	5.4
9	2	4	文字式の意味	表現・処理	数と式	60.0	98.2	82.6	27.8	2.3	95.9	10.0
10	3	1	一次方程式	表現・処理	数と式	63.4	98.7	86.5	33.2	1.0	97.7	11.1
11	3	2	一次方程式	表現・処理	数と式	64.8	97.1	83.6	39.8	10.0	87.1	14.6
12	3	3	一次方程式を使って,説明することができる	見方・考え方	数と式	13.1	45.3	12.4	1.6	0.0	45.3	54.2
13	4	1	数の増え方の規則性	表現・処理	数と式	83.5	97.9	91.3	77.1	44.9	53.0	2.9
14	4	2	文字式の意味を図示	見方・考え方	数と式	20.7	59.8	19.0	8.3	3.9	55.9	27.4
15	4	3	文字式の利用	表現・処理	数と式	18.1	61.9	16.6	3.4	0.1	61.8	18.9
16	5	1	方程式の解の意味	表現・処理	数量関係	58.3	91.1	73.2	37.1	7.2	83.9	1.7
17	5	2	等式の性質	表現・処理	数量関係	22.7	68.6	23.5	4.8	1.9	66.7	10.6
18	6	1	比例の関係	知識・理解	数量関係	33.1	84.1	38.1	9.6	3.1	81.0	3.2
19	6	2	比例の関係のグラフ	表現・処理	数量関係	52.5	90.1	66.3	29.0	5.6	84.5	7.2
20	6	3	反比例の関係	表現・処理	数量関係	52.5	97.2	70.3	21.4	1.8	95.4	13.0
21	6	3	反比例の関係のグラフ	知識・理解	数量関係	76.7	98.1	87.6	64.5	32.5	65.6	5.7
22	7	1	直線の本数	表現・処理	図形	74.4	96.2	85.1	63.0	27.0	69.2	2.8
23	7	2	線対称の意味	知識・理解	図形	76.6	96.9	85.4	66.8	35.4	61.5	1.2
24	7	3	図形の面積	見方・考え方	図形	10.2	36.4	8.3	2.4	0.3	36.1	56.5
25	7	4	垂直二等分線の作図	表現・処理	図形	78.4	97.9	90.3	68.4	25.6	72.3	9.7
26	8	1	空間における平面と直線の位置関係	知識・理解	図形	64.5	84.0	69.1	57.4	34.8	49.2	2.8
27	8	1	空間における直線と直線の位置関係	知識・理解	図形	44.6	57.6	43.1	44.6	29.3	28.3	3.1
28	8	2	平面の回転体	知識・理解	図形	66.3	91.5	81.3	50.3	10.1	81.4	4.4
29	8	2	円錐の体積を求めることができる	表現・処理	図形	18.9	62.7	19.5	1.6	0.1	62.6	25.4
30	8	2	2つの円錐の体積比	表現・処理	図形	33.2	79.8	34.5	15.6	8.1	71.7	35.8
31	9	1	おうぎ形の中心角	知識・理解	図形	55.6	95.8	69.8	31.0	6.8	89.0	21.1
32	9	2	おうぎ形の弧の長さ	表現・処理	図形	17.9	63.2	17.1	1.5	0.1	63.1	31.9
33	9	3	弧の長さとの半径	表現・処理	図形	20.9	51.9	19.6	11.5	5.3	46.6	41.7
34	10	1	割合	表現・処理	数と式	34.7	81.9	43.1	9.8	1.1	80.8	15.2
35	10	2	反比例の関係	見方・考え方	数量関係	27.5	73.3	30.0	9.0	1.1	72.2	19.7
36	10	3	事象の中の数量関係	見方・考え方	数量関係	9.7	36.1	7.5	2.0	0.3	35.8	38.3

設問別:各層の通過率

A層とD層との差が大きい設問順に左から並べています



調査問題の趣旨・内容

- 知識・理解 - 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) たい積岩の特徴を理解する。
気体の発生方法を理解する。
- 技能・表現 - 観察、実験の基本操作とともに、自然の事物・現象を科学的に探究し、そこから導き出した考えを表現できるかどうかを見る問題。
(例) 酸性やアルカリ性の水溶液の性質を、指示薬により確認する。
おもりにはたらく2つの力を、的確に表示する。
- 科学的な思考 - 自然の事物・現象を実証的、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして問題を解決することができるかどうかを見る問題。
(例) 身近な音の高低の現象を、まとめた内容と既習の知識で説明する。

課題等

植物の生活と種類

2つのタンポポの特徴を把握し見分ける問題(大問9小問1)については、74.5%の設問別通過率であり、領域の目標値70.0%をやや上回っている。

顕微鏡操作の正しい手順を理解することに課題がある。

実験結果をもとに、光合成に二酸化炭素が必要なことを考察することに課題がある。

タンポポの根のはたらきを考察し、表現することに課題がある。

大地の変化

石灰岩を構成している物質の理解に課題がある。

震源までの距離の違いを考察し、それを表現することに課題がある。

観測結果から、初期微動を伝える波の速さを求める問題(大問4小問2)については、21.8%の設問別通過率であり、領域の目標値71.0%をかなり下回っている。

身の回りの物質

二酸化炭素を発生させる物質を特定することや、捕集した気体の安全な確認方法の理解に課題がある。

水溶液の性質を指示薬により確認することや、中和によって塩が生成されることについての理解に課題がある。

身近な物理現象

おもりにはたらく力を矢印で図示させる問題(大問7小問2)については、5.3%の設問別通過率であり、領域の目標値67.9%をかなり下回っている。

紙を引きさくときの音の高低について説明させる問題(大問10小問1)については、12.2%の設問別通過率であり、領域の目標値67.9%をかなり下回っている。

...よくできている点 ...課題のある点

指導改善のポイント

植物の生活と種類

顕微鏡やルーペなどの活用を重視

- ・ 観察対象に応じた適切なルーペの使い方とともに、顕微鏡については、各部の名称・使用法に加え、しくみを理解させた上で、より正確に観察するための方法や安全な使い方を確実に身に付けさせることが大切である。

実験や観察結果を正確に読み取らせる学習を重視

- ・ 実験操作や観察方法を理解し、観察結果等、与えられた情報の正確な読み取りを通して、疑問や与えられた課題の解決に向けて、論理的な説明や表現をさせることが大切である。

大地の変化

たい積岩の観察を重視

- ・ たい積岩を適切に観察させ、スケッチや文章で記録させるとともに、粒の大きさと成分を関連付けて分類させることが大切である。

地震計の記録を読み取らせる学習を重視

- ・ P波とS波のゆれの特徴、伝わる速さなどを確実に押さえ、地震計の記録から、観測地点から震源までの距離や、波の伝わる速さを推定させることが大切である。

身の回りの物質

気体の発生方法や性質を理解させることを重視

- ・ 酸素や二酸化炭素など、気体の性質を理解させ、いろいろな発生方法や捕集の実験操作を正しく安全に行わせることが大切である。

中和における指示薬の変化や、中和のしくみについて理解させることを重視

- ・ フェノールフタレイン溶液やBTB溶液など、色の変化や役割を、実験などを通して正確に理解させ、中和にあたっては、生じる塩の意味を確実に理解させることが大切である。

身近な物理現象

つりあっている物体にはたらく力の表し方を重視

- ・ 力の表し方を理解し、力の三要素をふまえて、つりあっている物体にはたらく2力を、力の矢印を使って正確に表現できるよう指導することが大切である。

音の大きさや高さ、振幅や振動数との関係を理解させることを重視

- ・ 基本的な実験だけでなく、身近な音に関する現象をもとに、音の大小と振幅、音の高低と振動数が関係していることを考察し、表現させるよう指導することが大切である。

設問別解答状況一覧

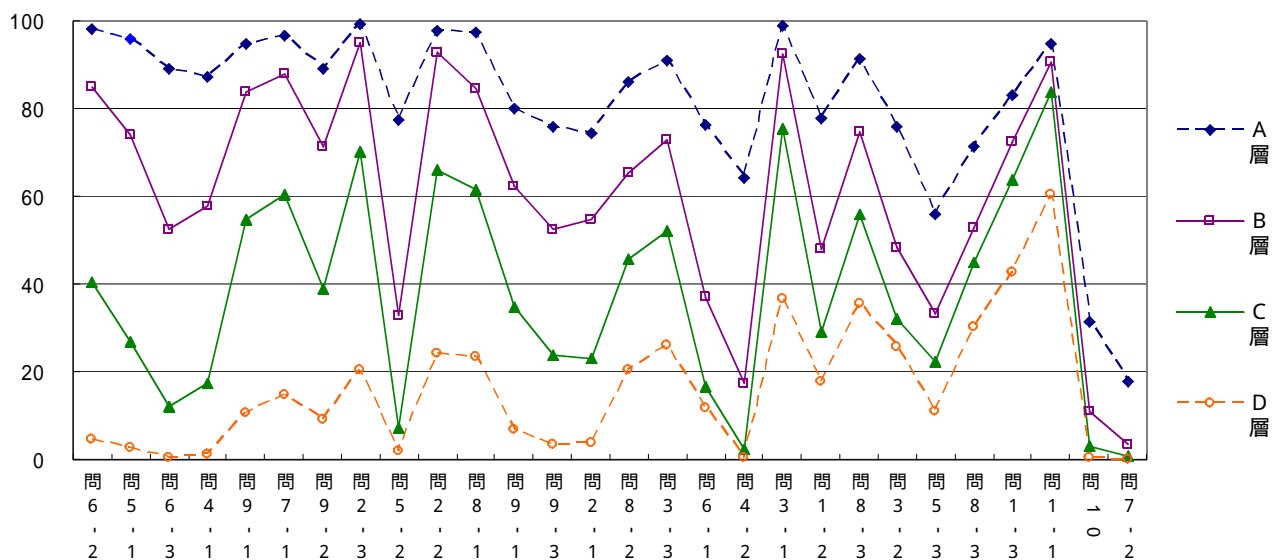
設問別通過率

(%)

問題番号			出題内容	観点	領域	全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層	無解答率
通し番号	大問	小問										
1	1	1	顕微鏡の名称	知識・理解	植物の生活と種類	88.0	94.9	90.5	83.6	60.5	34.4	2.0
2	1	2	顕微鏡の操作	知識・理解	植物の生活と種類	47.3	77.8	48.1	28.9	17.6	60.2	0.2
3	1	3	顕微鏡の操作	技能・表現	植物の生活と種類	70.8	83.2	72.5	63.8	42.7	40.5	0.2
4	2	1	植物の光合成	科学的な思考	植物の生活と種類	47.4	74.3	54.6	23.0	3.7	70.6	5.9
5	2	2	植物の光合成	科学的な思考	植物の生活と種類	83.2	97.9	92.8	66.1	24.0	73.9	0.6
6	2	3	植物の光合成	知識・理解	植物の生活と種類	85.4	99.1	95.0	70.3	20.4	78.7	5.3
7	3	1	地層と過去のようす	技能・表現	大地の変化	86.4	98.9	92.6	75.4	36.5	62.4	0.6
8	3	2	地層と過去のようす	知識・理解	大地の変化	48.2	76.0	48.2	32.2	25.5	50.5	0.5
9	3	3	地層と過去のようす	知識・理解	大地の変化	68.4	90.8	72.8	52.1	26.2	64.6	0.4
10	4	1	震源までの距離	科学的な思考	大地の変化	50.0	87.3	57.7	17.5	1.2	86.1	8.0
11	4	2	揺れの伝わる速さ	科学的な思考	大地の変化	21.8	64.1	17.5	2.3	0.5	63.6	24.2
12	5	1	気体の捕集方法	知識・理解	身の回りの物質	62.2	95.8	74.1	26.9	2.5	93.3	8.5
13	5	2	気体の発生方法	知識・理解	身の回りの物質	33.1	77.2	32.7	7.2	2.0	75.2	1.2
14	5	3	気体の性質	科学的な思考	身の回りの物質	33.6	56.0	33.1	22.3	11.0	45.0	16.0
15	6	1	中和反応	技能・表現	身の回りの物質	38.0	76.3	36.9	16.7	11.7	64.6	1.0
16	6	2	中和反応	知識・理解	身の回りの物質	71.6	98.1	85.0	40.3	4.6	93.5	14.7
17	6	3	中和反応	知識・理解	身の回りの物質	46.1	89.0	52.3	11.9	0.3	88.7	23.4
18	7	1	物体に加えた力	知識・理解	身近な物理現象	78.5	96.5	87.8	60.4	14.9	81.6	3.8
19	7	2	2力のつりあい	技能・表現	身近な物理現象	5.3	17.8	3.3	0.6	0.0	17.8	3.4
20	8	1	凸レンズのはたらき	知識・理解	身近な物理現象	77.9	97.2	84.7	61.6	23.3	73.9	3.0
21	8	2	凸レンズのはたらき	科学的な思考	身近な物理現象	61.9	86.1	65.4	45.6	20.4	65.7	1.3
22	8	3	凸レンズのはたらき	科学的な思考	身近な物理現象	53.1	71.2	52.8	44.8	30.1	41.1	0.9
23	8	3	凸レンズのはたらき	科学的な思考	身近な物理現象	70.9	91.3	74.6	55.9	35.3	56.0	1.6
24	9	1	タンポポの特徴	科学的な思考	植物の生活と種類	74.5	94.9	83.7	54.8	10.5	84.4	5.8
25	9	1	タンポポの特徴	科学的な思考	植物の生活と種類	55.5	79.9	62.3	34.7	6.8	73.1	8.0
26	9	2	タンポポのふえ方	科学的な思考	植物の生活と種類	63.1	89.2	71.5	39.0	9.0	80.2	5.1
27	9	3	タンポポの根のはたらき	科学的な思考	植物の生活と種類	46.7	75.7	52.3	23.6	3.4	72.3	8.2
28	10	1	音の高低	科学的な思考	身近な物理現象	12.2	31.3	10.8	3.0	0.3	31.0	10.6

設問別：各層の通過率

A層とD層との差が大きい設問順に左から並べています



調査問題の趣旨・内容

理解	- 「聞くこと」「読むこと」について基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかを見る問題。
(例)	英語での問いかけに対応する。 英語を聞いて詳細を理解する。 英語を聞いて概要・要点を理解する。 英語を読んで詳細を理解する。 英語を読んで概要・要点を理解する。 英語を読んで対話の流れを理解する。
知識・理解	- 場面に応じた英語の使用法や語順などの文法的な知識が身に付いているかどうかを見る問題。
(例)	場面に応じた英語の使用法を理解する。 与えられた英語で語順正しく書く。
表現	- 基礎的・基本的な知識を使って、英語が使われる場面において適切に表現することができるかどうかを見る問題。
(例)	与えられた英語で語順正しく書く。 書く内容を考えて英語で書く。 指定された内容を英語で書く。

課題等

聞くこと

Thank you.に対する応答の仕方(大問1小問2)や疑問詞(Who)のある疑問文の理解(大問2小問2)については、それぞれの設問別通過率が86.7%、98.3%で領域の目標値の66.0%と比較するとかなり高い。

やや長めの英文を聞いて、その概要・要点を理解すること(大問3)に課題がある。特に Do の疑問文に対する応答(大問3小問3)及び Did の疑問文に対する応答(大問3小問4)の設問別通過率は、それぞれ27.8%、36.7%で領域の目標値と比較するとかなり低い。

読むこと

対話文の内容理解(大問4小問1、3)、Me too.と Can you ~?の使い方(大問6)、疑問詞(Whose)の疑問文に対する応答と Here you are.の使い方(大問7)については、設問別通過率は領域の目標値の57.1%をそれぞれ10ポイント以上上回っており、かなり高い。

やや長めの英文(日記文)を読んで、その概要・要点を理解することや理解した内容を他の表現を使って書き換えること(大問5)に課題がある。「読むこと」の領域ではすべての設問別通過率が、領域の目標値よりもかなり低い。

書くこと

大問8、9、10の設問別通過率は、領域の目標値57.0%をそれぞれ4ポイント以上下回っている。特に前置詞 of の使い方(大問8小問2)については31.1%で、領域の目標値と比較するとかなり低い。

「書くこと」(大問8、9、10)に関するすべての内容(否定命令文の使い方、前置詞 of の使い方、年齢の尋ね方、友達の紹介文の書き方、現在形・進行形の表現)に課題がある。

...よくできている点 ...課題のある点

指導改善のポイント

聞くこと

やや長めの英文を聞いて、その概要・要点を捉える指導を重視

- ・ 言語活動を通して、話の内容を5W1Hの観点や時制に気を配り、メモをとりながら、聞き取るように指導していくことが必要である。
- ・ ブレインストーミング（聞かせたいトピックに関して連想される様々な意見や知識を出させ、どのようなことが話されそうかを推測させる）の手法を用いて、話される内容を大まかに予測させて聞かせるなどの指導が必要である。

読むこと

やや長めの英文を読んで、その概要・要点を捉える指導を重視

- ・ 読み取りの視点や手がかりとなる語句や表現を与えるなど、書かれた内容を正確に読み取ることができるように指導することが必要である。
- ・ スキャニング（設問に関連する情報の該当箇所のみをピンポイントで読んでいく探し読み）やスキミング（文書全体を流し読みし、大意を把握する速読）などの言語活動を計画的に取り入れ、英文の大切な部分を読み取ることができるように指導することが必要である。

「書くこと」との有機的な関連を図る指導を重視

- ・ 文章の内容を読み取って、その概要や要点を他の英語表現を使って書き換えるなどの「書くこと」の言語活動も取り入れ、「読むこと」と「書くこと」の有機的な関連を図るように指導していくことが必要である。

書くこと

文法的に正しい語順で書くための知識の定着を図る指導を重視

- ・ 英語の基本的な文構造や語順、特に代名詞と前置詞 of の使い方や年齢、日付、天気などを尋ねる時の表現、その他の頻度の高い決まり文句について、授業の中でそれらの使用場面を設定し、繰り返し指導することによって定着を図ることが必要である。

内容につながりのある文章を書く指導を重視

- ・ 内容につながりのある文章を書くために、はじめからテーマのみを与えるのではなく、テーマと書く内容のある程度与えて書かせる、テーマを与え書く内容を徐々に減らして書かせる、最終的にはテーマのみを与えて自由に書かせるなど、段階的に指導していくことが必要である。
- ・ 物語や説明文などの読み物教材を活用し、本文の要点をまとめたり、感想や意見などを書いたりする言語活動を通して、文章を書く指導を繰り返し行うとともに、ポートフォリオによって学習のプロセスを評価するなどの工夫も必要である。

与えられた内容について読み手に伝わるように書く指導を重視

- ・ 絵や写真などを見せてそれらが示している内容が読み手にわかりやすく伝わるように順序正しく書く指導を充実することが必要である。

設問別解答状況一覧

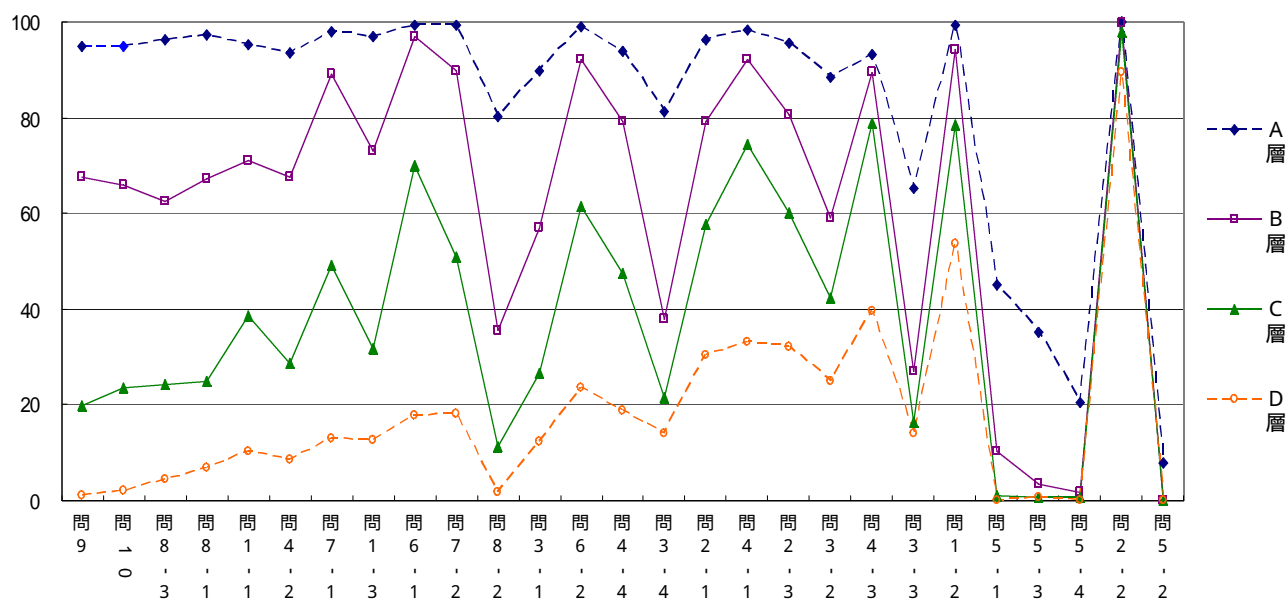
設問別通過率

(%)

問題番号 通し 番号	大問	小問	出題内容	観点	領域	全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層	無解答率
1	1	1	命令文に対する応答	理解	聞くこと	58.9	95.2	70.9	38.7	10.1	85.1	0.2
2	1	2	Thank you.に対する応答	理解	聞くこと	86.7	99.4	94.1	78.6	53.6	45.8	0.3
3	1	3	疑問詞(When)の疑問文に対する応答	理解	聞くこと	57.9	96.8	73.1	31.7	12.6	84.2	0.2
4	2	1	疑問詞(How many)の疑問文と進行形の疑問文の理解	理解	聞くこと	70.7	96.1	79.1	57.7	30.5	65.6	0.2
5	2	2	疑問詞(Who)のある疑問文の理解	理解	聞くこと	98.3	99.9	99.6	97.8	89.5	10.4	0.1
6	2	3	疑問詞(What)の疑問文と助動詞(can)の疑問文の理解	理解	聞くこと	72.1	95.6	80.4	60.0	32.0	63.6	0.2
7	3	1	Be動詞の疑問文に対する応答	理解	聞くこと	47.9	89.7	56.9	26.5	12.4	77.3	0.3
8	3	2	疑問詞(What)の疑問文に対する応答	理解	聞くこと	55.0	88.3	59.0	42.2	25.0	63.3	0.4
9	3	3	Doの疑問文に対する応答	理解	聞くこと	27.8	65.3	26.9	16.3	14.0	51.3	0.9
10	3	4	Didの疑問文に対する応答	理解	聞くこと	36.7	81.1	37.9	21.4	14.1	67.0	0.4
11	4	1	対話文の内容理解	理解	読むこと	82.8	98.4	92.1	74.5	33.2	65.2	0.3
12	4	2	対話文の内容理解	理解	読むこと	53.7	93.6	67.6	28.8	8.6	85.0	0.3
13	4	3	対話文の内容理解	理解	読むこと	82.8	93.3	89.3	78.7	39.6	53.7	0.3
14	4	4	対話文の内容理解	理解	読むこと	65.9	93.8	79.1	47.3	18.7	75.1	0.4
15	5	1	英文(日記文)の内容理解	理解	読むこと	11.3	45.0	10.1	1.0	0.0	45.0	10.5
16	5	2	英文(日記文)の内容理解	理解	読むこと	1.2	7.9	0.1	0.1	0.0	7.9	12.9
17	5	3	英文(日記文)の内容理解	理解	読むこと	6.8	35.2	3.4	0.7	0.6	34.6	18.5
18	5	4	英文(日記文)の内容理解	理解	読むこと	4.0	20.6	1.7	0.8	0.1	20.5	20.7
19	6	1	Me too.の使い方	理解	読むこと	82.5	99.3	96.9	70.1	17.8	81.5	0.5
20	6	2	相手を誘う時の表現(Can you ~?)の使い方	理解	読むこと	77.6	98.9	92.1	61.3	23.7	75.2	0.7
21	7	1	疑問詞(Whose)の疑問文に対する応答	知識・理解	読むこと	71.3	97.9	89.1	49.3	13.1	84.8	0.7
22	7	2	Here you are.の使い方	知識・理解	読むこと	72.6	99.2	89.9	50.8	18.0	81.2	0.7
23	8	1	否定命令文の使い方	知識・理解	書くこと	52.7	97.4	67.3	25.0	6.7	90.7	1.5
24	8	2	前置詞ofの使い方	知識・理解	書くこと	31.1	80.1	35.6	11.1	1.8	78.3	2.0
25	8	3	年齢の尋ね方	知識・理解	書くこと	50.0	96.1	62.6	24.3	4.4	91.7	2.2
26	9	1	友達の紹介文の書き方	表現	書くこと	50.2	94.8	67.5	19.9	1.0	93.8	16.6
27	10	1	現在形・進行形の表現	表現	書くこと	51.0	94.8	66.0	23.7	2.0	92.8	18.3

設問別:各層の通過率

A層とD層との差が大きい設問順に左から並べています



意識調査の実態及び分析

1 小学校

学校の授業に関する分析

本県の小学5年生が最も好きな授業は家庭科、わかる授業は体育であり、授業形態では「先生が1人で学級のみんなを教える」形態を最も肯定的にとらえている。

A層の児童の方がD層の児童より、「国語の授業が好き」「国語の授業がわかる」という質問に対して肯定的に答えており、学力との関連がみられる。

学校の授業に関する集計

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層
1	好きな授業	国語	70.5	79.7	69.0	56.8	41.1	38.6
		社会	61.5	69.3	59.4	52.2	48.6	20.7
		算数	78.5	87.9	77.1	63.0	58.3	29.6
		理科	84.9	89.0	84.0	79.4	74.3	14.7
		音楽	79.8	82.8	80.0	72.7	69.7	13.1
		図画工作	85.4	85.0	85.5	85.6	86.3	-1.3
		体育	89.6	87.8	90.8	90.0	86.3	1.5
		家庭	91.5	93.9	91.5	87.0	80.0	13.9
		総合的な学習の時間	82.7	86.5	83.2	73.4	68.6	17.9
		道徳	73.3	75.3	73.5	67.8	69.1	6.2
		学級活動	86.8	90.1	87.1	78.5	72.6	17.5
2	わかる授業	国語	91.7	97.8	92.1	78.1	59.4	38.4
		社会	83.6	92.0	82.3	70.8	58.3	33.7
		算数	87.9	96.2	87.4	72.4	60.6	35.6
		理科	92.2	96.4	91.5	86.2	77.1	19.3
		音楽	89.4	93.2	89.2	82.8	74.3	18.9
		図画工作	94.1	96.0	94.0	90.5	88.0	8.0
		体育	96.3	96.5	97.0	93.7	88.0	8.5
		家庭	91.7	94.7	91.5	86.1	81.1	13.6
		総合的な学習の時間	90.0	94.4	90.3	80.4	68.0	26.4
		道徳	89.9	94.0	89.6	82.8	73.1	20.9
		学級活動	92.6	96.5	93.0	83.3	74.3	22.2
3	わかりやすい授業	先生が1人で学級のみんなを教える	94.0	96.9	93.9	88.4	83.4	13.5
		先生が何人かで学級のみんなをいっしょに教える	89.6	92.5	89.6	83.7	80.0	12.5
		学級が分かれて先生がそれぞれについて教える	90.9	94.6	90.9	83.7	77.1	17.5
		コンピュータを使った授業	88.0	91.5	87.6	82.2	72.0	19.5
		学校の先生以外の人が教える授業	79.5	85.4	77.9	72.2	70.3	15.1

「全県」は、各問いに対して肯定的な解答をした児童の割合を表している。また、A層・B層・C層・D層とは、学力検査において、全教科の最高到達度と最低到達度を均等に4段階の層に分け、上位から順にA～Dとしたものであり、学力検査で分けられた各層の児童が、各質問内容に対して肯定的な解答をした人数の割合が示しある。

A層(成績上位層) - D層(成績下位層)のポイントが大きいほど、質問内容は学力と関連がある。

学習に関する分析

学習内容がわからないときは、「家の人に聞く」「自分1人でやってみる」の割合が多い。

A層とD層の比較から、A層の児童の方が、D層の児童に比べて、学習内容がわからないとき、「自分1人でやってみる」の割合が多く、逆にD層の児童の方が、「そのままにしておく」の割合が多く、学力との関連がみられる。

児童の95.5%が、「出された宿題をする」と答えている。

授業のための予習よりも、授業で習ったことの復習の方が、A層とD層の差が大きい。

A層の児童はD層の児童に比べて、平日、土日とも家で自分ひとりで勉強する時間が長く、学習塾に通っている日数は少ない。

A層の児童の方がD層の児童に比べて、平日に学習塾や家庭教師にみてもらっている時間は長いですが、土日は短い。

A層の児童の方が、解き方が分からなくてもあきらめずにいろいろな方法を考えたり、漢字や暗算を生活の中で積極的に使ったりしている。

学習に関する集計

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
4	わからないとき	自分1人でやってみる	84.4	89.3	84.2	74.8	65.7	23.6
		友だちに聞く	48.5	44.0	49.7	53.3	61.1	-17.1
		家の人に聞く	85.8	87.1	85.9	83.0	77.7	9.4
		学校の先生に聞く	37.6	37.7	36.5	39.9	54.3	-16.6
		塾や家庭教師の先生に聞く	14.6	13.3	13.8	19.9	27.4	-14.1
		そのままにしておく	15.2	7.8	15.8	27.6	48.6	-40.8
5	家庭学習	授業のための予習をする	60.9	63.9	60.4	56.2	55.4	8.5
		授業で習ったことを復習をする	82.8	89.5	82.4	71.1	58.3	31.2
		出された宿題をする	95.5	98.1	95.7	90.7	72.6	25.5
		家の人から言われなくても進んで勉強する	78.3	82.5	78.4	69.2	59.4	23.1
		自分がおもしろいと思ったことを進んで勉強する	80.1	83.5	79.8	73.8	70.3	13.2
6	家庭	平日に家で自分ひとりで勉強する時間	34.3	47.6	34.8	26.6	28.0	19.6
		土日に家で自分ひとりで勉強する時間	34.7	44.4	35.4	30.0	29.1	15.3
7	家庭外	学習塾に通っている日数(1週間)	10.3	5.0	7.0	12.0	17.1	-12.1
		平日に塾や家庭教師にみてもらっている時間	24.8	28.0	26.2	25.4	19.4	8.6
		土日に塾や家庭教師にみてもらっている時間	21.2	18.7	20.7	23.2	22.3	-3.6
8	活用	あきらめずにいろいろな方法を考える	84.9	92.0	84.3	72.4	62.3	29.7
		新しく習った漢字を普段の生活の中で使う	78.5	84.2	78.1	68.1	61.7	22.5
		普段の生活の中で暗算をすることがある	82.0	89.3	81.5	68.5	56.6	32.7

生活に関する分析

「読書」については、D層の児童と比べてA層の児童の方が1か月に読む本の冊数が多い。

学校以外の過ごし方において、本県の児童は、外で遊んだり家族と過ごしたり出かけたりすることが多く、美術館や図書館、博物館等の文化施設に行ったり、習字、ピアノなどのおけいごとをしたりする児童が少ない。また、地域の活動に参加する児童も少ない。

D層の児童の方がA層の児童より、学校以外の過ごし方において「テレビゲームやパソコンをする」と回答しており、逆にA層の児童の方がD層の児童より、「勉強をする」と回答している。

本県の小学5年生の児童の95.7%が、毎日朝食を食べている。

家での生活においては、「前日か朝に学校の準備を確かめる」「家族でいろいろな話をする」にA層とD層の差がみられる。これは、中学校と同様の傾向であり、学力に関連があると考えられる。

生活に関する集計

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合 (%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層
9	読書	1か月に読む冊数	57.9	76.3	65.5	53.3	36.6	39.7
10	学校以外での過ごし方	外で遊ぶ	88.9	86.4	90.6	89.2	82.9	3.5
		テレビを見たり、漫画を読んだりする	79.0	79.8	79.3	76.5	71.4	8.4
		テレビゲームやパソコンをする	58.1	56.4	58.1	61.6	62.9	-6.5
		本や新聞をよむ	59.6	67.9	56.3	53.3	54.3	13.6
		勉強をする	77.1	82.6	76.1	69.1	59.4	23.2
		習字、ピアノ等おけいごとをする	43.3	53.7	40.8	28.9	32.0	21.7
		スポーツ少年団などの活動をする	50.9	52.3	51.4	46.5	41.1	11.2
		地域の活動に参加する	45.2	45.8	46.0	40.8	39.4	6.4
		美術館、図書館、博物館等に行く	34.2	35.5	32.9	36.0	38.9	-3.4
		家の手伝いをする	76.0	77.1	75.5	75.9	69.7	7.4
家族と過ごしたり出かけたりする	85.8	87.8	85.4	83.0	79.4	8.4		
11	家での生活	毎朝自分で起床する	65.9	66.7	65.7	65.1	61.7	5.0
		毎日朝食を食べる	95.7	98.3	95.7	90.7	80.0	18.3
		前日か朝に学校の準備を確かめる	88.0	92.8	87.7	79.6	65.1	27.7
		身の回りのことはできるだけ自分でする	85.2	88.8	85.5	76.8	69.7	19.1
		勉強する時間を自分で決めて実行する	63.4	65.5	62.9	61.3	56.6	8.9
		夜決まった時間に寝る	59.5	63.3	58.4	55.1	54.3	9.0
		家族でいろいろな話をする	82.1	87.2	81.8	72.6	67.4	19.8
		テレビの時間などルールを家の人と決めている	62.3	67.7	60.4	57.8	54.9	12.8

自分に関する分析

「いじめはどんな理由があってもいけない」「友だちの約束を守っている」「人の役に立つ人間になりたい」「近所の人にあいさつをしている」「人の気持ちがわかる人間になりたい」「物事を最後までやりとげて嬉しかったことがある」と回答している児童は90%以上であり、中学校と同様の結果である。

物事を最後までやりとげた経験や、新聞やテレビのニュースへの関心、きまりを守る態度や人の気持ちを理解する態度、人の役に立ちたい気持ちは、A層 - D層の差が20%を超えており、学力との関連がみられる。

自分に関することの質問内容の中で、「新聞やテレビのニュースなどへの関心がある」の割合が、他の質問に比べて低い。

自分に関する集計

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合 (%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層
12	自分に関すること	物事を最後までやりとげて嬉しかったことがある	90.4	94.2	90.5	82.5	70.9	23.3
		難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している	79.0	83.1	79.0	70.9	64.0	19.1
		自分にはよいところがあると思う	74.6	78.4	74.5	66.8	60.6	17.8
		将来の夢や目標を持っている	87.8	90.8	88.0	81.4	76.0	14.8
		新聞やテレビのニュースなどに関心がある	68.2	77.3	65.2	59.3	53.1	24.2
		世の中のいろいろな出来事に関心がある	70.1	76.9	68.4	62.0	58.3	18.6
		学校のきまりを守っている	88.1	91.6	88.2	81.2	70.9	20.7
		友だちの約束を守っている	93.6	97.2	94.0	85.3	77.7	19.5
		人が困っているときは進んで助けている	82.4	85.5	82.8	74.6	68.6	16.9
		近所の人にあいさつしている	92.1	94.7	92.2	85.8	83.4	11.3
		人の気持ちが分かる人間になりたい	90.7	94.1	90.9	83.2	73.7	20.4
		いじめはどんな理由があってもいけない	95.1	97.3	95.7	89.0	79.4	17.9
人の役に立つ人間になりたい	93.2	96.1	93.0	88.4	75.4	20.7		

2 中学校

学校の授業に関する分析

本県の中学2年生が最も好きな授業、わかる授業は学級活動であり、授業形態では「学級が分かれて先生がそれぞれに教える」形態を最も肯定的にとらえている。

A層の生徒の方がD層の生徒より、「数学・英語の授業が好き」で、「数学・英語の授業がわかる」という質問に対して肯定的に答えており、学力との関連がみられる。

学校の授業に関する集計

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層
1	好きな授業	国語	65.4	68.0	66.9	63.7	52.3	15.7
		社会	65.5	78.7	68.4	55.7	51.8	26.9
		数学	55.8	74.1	57.4	45.4	41.5	32.6
		理科	72.4	83.7	72.5	67.6	62.9	20.8
		音楽	71.7	73.2	71.7	72.0	65.8	7.4
		美術	71.1	67.1	71.2	73.5	68.9	-1.8
		保健体育	81.5	78.2	80.8	85.4	76.7	1.5
		技術・家庭	78.3	78.5	78.4	79.3	70.3	8.2
		英語	60.9	82.7	65.6	46.1	32.3	50.4
		総合的な学習の時間	76.8	76.4	77.3	78.0	65.5	10.9
		道徳	61.4	58.4	60.6	64.8	60.3	-1.9
		学級活動	83.0	84.4	84.1	83.0	67.7	16.7
2	わかる授業	国語	85.6	93.3	87.9	81.1	64.2	29.1
		社会	75.4	89.9	77.3	67.1	58.7	31.2
		数学	70.7	88.7	72.9	60.7	50.8	37.9
		理科	79.9	92.0	80.9	74.4	64.6	27.4
		音楽	80.3	82.8	80.9	79.5	71.8	11.0
		美術	83.4	81.5	84.0	84.3	78.2	3.3
		保健体育	89.7	89.4	89.7	91.0	84.1	5.3
		技術・家庭	83.3	87.8	83.2	82.6	73.6	14.2
		英語	66.3	90.8	71.2	49.9	35.4	55.4
		総合的な学習の時間	87.2	88.6	88.8	86.2	72.7	15.9
		道徳	84.8	86.3	85.3	84.8	74.1	12.2
		学級活動	91.9	94.6	92.9	90.9	79.8	14.8
3	わかりやすい授業	先生が1人で学級のみんなを教える	87.0	95.2	89.1	81.7	71.0	24.2
		先生が何人かで学級のみんなをいっしょに教える	87.8	90.3	89.3	86.5	72.4	17.9
		学級が分かれて先生がそれぞれに教える	93.2	95.7	94.9	91.6	79.1	16.6
		コンピュータを使った授業	84.4	87.1	85.5	83.0	72.9	14.2
		学校の先生以外(ALT等)の人が教える授業	76.1	82.3	78.1	71.8	61.8	20.5

「全県」は、各問いに対して肯定的な解答をした生徒の割合を表している。また、A層・B層・C層・D層とは、学力検査において、全教科の最高到達度と最低到達度を均等に4段階の層に分け、上位から順にA～Dとしたものであり、学力検査で分けられた各層の生徒が、各質問内容に対して肯定的な解答をした人数の割合が示してある。

A層(成績上位層) - D層(成績下位層)のポイントが大きいほど、質問内容は学力と関連がある。

学習に関する分析

学習内容がわからないときは、「自分1人でやってみる」「友だちに聞く」の割合が多い。

A層とD層の比較から、A層の生徒の方がD層の生徒に比べて、「自分1人でやってみる」の割合が多く、逆にD層の生徒の方が、「そのままにしておく」の割合が多く、学力に関連がみられる。

生徒の94.9%が、「出された宿題をする」と答えている。

授業のための予習よりも、授業で習ったことの復習の方が、A層とD層の差が大きい。

A層の生徒はD層の生徒に比べて、平日、土日とも家で自分ひとりで勉強する時間が長い。

A層、D層ともに、学習塾に通っている日数にほとんど差はみられないが、A層の生徒の方がD層の生徒に比べて、平日に学習塾や家庭教師にみてもらっている時間が長い。

A層の生徒は、解き方が分からなくてもあきらめずにいろいろな方法を考えたり、漢字や暗算を生活の中で積極的に使ったりしており、活用で関連がみられる。

学習に関する集計

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層
4	わからないとき	自分1人でやってみる	83.1	93.2	86.1	76.0	62.7	30.5
		友だちに聞く	68.0	62.1	69.9	69.9	56.3	5.8
		家の人に聞く	66.6	71.4	68.9	62.4	53.7	17.7
		学校の先生に聞く	32.0	36.7	32.5	29.3	28.3	8.4
		塾や家庭教師の先生に聞く	25.4	28.9	26.0	23.5	18.7	10.2
		そのままにしておく	30.8	14.3	27.7	42.1	48.4	-34.1
5	家庭学習	授業のための予習をする	39.8	39.8	38.5	41.7	41.1	-1.3
		授業で習ったことを復習をする	85.9	90.5	90.2	80.8	59.9	30.6
		出された宿題をする	94.9	98.8	97.6	91.3	76.5	22.3
		家の人から言われなくても進んで勉強する	70.6	76.2	74.2	64.9	49.7	26.5
		自分がおもしろいと思ったことを進んで勉強する	75.6	80.7	76.3	73.6	64.2	16.5
6	家庭	平日に家で自分ひとりで勉強する時間	51.5	67.3	61.5	47.7	29.5	37.8
		土日に家で自分ひとりで勉強する時間	62.9	80.4	74.6	60.1	36.6	43.8
7	家庭外	学習塾に通っている日数(1週間)	6.0	5.0	3.9	5.4	9.5	-4.5
		平日に塾や家庭教師にみてもらっている時間	44.2	47.1	45.0	47.5	37.0	10.1
		土日に塾や家庭教師にみてもらっている時間	27.7	19.9	25.9	34.4	30.7	-10.8
8	活用	あきらめずにいろいろな方法を考える	71.1	90.0	74.4	59.5	46.6	43.4
		新しく習った漢字を普段の生活の中で使う	59.8	68.7	61.2	53.7	52.2	16.5
		普段の生活の中で暗算をすることがある	71.8	84.6	75.7	62.8	45.9	38.7

生活に関する分析

読書については、D層の生徒と比べてA層の生徒の方が1か月に読む本の冊数が多いことがわかる。

学校以外の過ごし方において、本県の生徒は、テレビを見たり、漫画を読んだりすることが多く、美術館や図書館、博物館等の文化施設へ行ったり、地域の活動に参加したりする割合が少ない。

D層の生徒の方がA層の生徒より、学校以外の過ごし方において「外で遊ぶ」と回答しており、逆にA層の生徒の方がD層の生徒より、「勉強をする」と回答している。

本県中学2年生の生徒の94.3%が、毎日朝食を食べている。

家での生活においては、「前日か朝に学校の準備を確かめる」「家族でいろいろな話をする」にA層とD層の差がみられる。これは、小学校と同様の傾向であり、学力に関連があると考えられる。

生活に関する集計

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層
9	読書	1か月に読む冊数	66.6	40.2	32.8	31.3	29.7	10.5
10	学校以外の過ごし方	外で遊ぶ	73.6	63.1	73.3	79.1	77.2	-14.1
		テレビを見たり、漫画を読んだりする	86.6	87.6	87.9	85.1	80.5	7.1
		テレビゲームやパソコンをする	64.7	68.5	66.1	60.9	61.5	7.0
		本や新聞をよむ	49.0	58.4	48.4	46.1	41.8	16.6
		勉強をする	61.4	71.1	64.2	54.3	43.4	27.7
		習字、ピアノ等おけいこごとをする	21.4	29.7	22.9	15.4	14.3	15.4
		スポーツ少年団などの活動をする	46.6	44.7	48.9	46.0	34.2	10.5
		地域の活動に参加する	16.3	13.1	15.8	17.8	22.5	-9.4
		美術館、図書館、博物館等に行く	12.4	13.4	11.8	12.1	16.4	-3.0
		家の手伝いをする	59.8	60.1	59.0	61.0	59.9	0.2
家族と過ごしたり出かけたりする	73.6	76.6	74.0	72.2	68.7	7.9		
11	家での生活	毎朝自分で起床する	68.1	67.1	67.7	69.9	65.5	1.6
		毎日朝食を食べる	94.3	98.0	95.9	91.8	82.7	15.3
		前日か朝に学校の準備を確かめる	88.1	94.4	90.7	83.8	67.5	26.9
		身の回りのことはできるだけ自分でする	85.5	88.7	87.8	82.5	69.9	18.8
		勉強する時間を自分で決めて実行する	55.8	61.9	57.4	51.3	47.2	14.7
		夜決まった時間に寝る	42.6	50.1	42.4	40.0	35.4	14.7
		家族でいろいろな話をする	74.5	81.7	76.6	70.4	56.0	25.7
		テレビの時間などルールを家の人と決めている	36.8	46.5	37.5	31.5	30.2	16.3

自分に関する分析

「友だちの約束を守っている」「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」「人の気持ちが分かる人間になりたい」「近所の人にあいさつをしている」「物事を最後までやりとげて嬉しかったことがある」と回答している生徒は90%以上であり、小学校と同様の結果である。

A層とD層を比較してみると、新聞やニュースへの関心や世の中のいろいろな出来事への関心の差が大きく、学力に関連があると考えられる。

自分に関することの内容の中で、「自分にはよいところがあると思う」の割合が他の質問に比べて低く、小学校の74.6%と比較すると、自己肯定感が低くなっている。

自分に関する集計

設問	出題内容	質問内容	肯定的な回答をした児童生徒の割合(%)					
			全県	A層	B層	C層	D層	A層-D層
12	自分に関すること	物事を最後までやりとげて嬉しかったことがある	91.1	96.0	92.9	88.6	71.7	24.3
		難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している	64.7	70.8	66.3	61.3	49.2	21.6
		自分にはよいところがあると思う	58.0	64.3	59.5	53.8	47.3	17.0
		将来の夢や目標を持っている	72.2	74.5	72.0	72.9	63.9	10.6
		新聞やテレビのニュースなどに関心がある	61.4	76.0	62.2	54.9	44.4	31.6
		世の中のいろいろな出来事に関心がある	62.7	75.2	64.5	55.6	46.1	29.1
		学校のきまりを守っている	88.8	94.8	90.7	84.9	74.3	20.5
		友だちの約束を守っている	94.7	97.4	96.2	93.0	80.8	16.6
		人が困っているときは進んで助けている	74.3	75.9	76.0	72.2	64.1	11.8
		近所の人にあいさつしている	91.0	91.5	92.6	90.1	80.3	11.2
		人の気持ちが分かる人間になりたい	92.1	95.6	94.0	90.0	74.6	21.0
		いじめはどんな理由があってもいけない	94.0	95.6	95.2	92.7	84.5	11.1
人の役に立つ人間になりたい	92.7	96.0	94.4	90.2	80.0	16.0		